THE Y.W.C.A. MONTHLY

女子青年界

二月號

要目

□眞實への透視……高倉德太郎
□ピリピ書講解(七)……佐波亘
□英文欄……
□プレシコフスカヤ(一)……森田松榮
□四つの祈禱……村岸榮子
□或女學生の手紙……水野清子
□讀書紹介(五)ルイズ……山本つち子
□志道者の爲に……ルース・レーガン
□日本の若き姉妹方に……紐育 中西絅娜子
□萬國學生祈禱日趣意書……
□問題の加州から一筆……河井道子

日本基督教女子青年會發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生徒募集

○豫科（尋常小學校卒業生）

○英語專修科（英語を課したる高等女學校卒業生）

○研究科（英語を課したる高等女學校卒業後三ヶ年以上英語を學びたるもの）

右募集す

横濱山手町

フェリス英和女學校

文部大臣指定

宮城女學校

仙臺市東三番町

高等女學科　五ヶ年　尋常小學校卒業
聖書專攻科　二ヶ年　高等女學校卒業
家政專攻科　二ヶ年　同
音樂專攻科　三ヶ年　同
英文專攻科　三ヶ年　同

各專攻科ニ豫科ノ設ケアリ高等女學校實科高等女學校卒業ノ資格ヲ要ス學則郵劵二錢ヲ添ヘ申込マルベシ

横濱

共立女學校

（横濱山手町）

本校特色　英語、音樂、數名の西洋人懇切に教授す

高等小學卒業者は本科一年に、尋常小學卒業者は豫科に入學を許可す。

入學申込期限　四月五日

高燥閑靜にして最も家庭的なる寄宿舍の設けあり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第十八卷第二號

女子青年界目次

大正十年二月號

□眞實への透視……高倉德太郎…（一）
□ピリピ書講解（七）……佐波亘…（八）
□英文欄……（一四）
□プレシコフスカヤ（一）……森田松榮…（一五）
□四つの祈禱……村岸榮子…（二一）
□或女學生の手紙……水野淸子…（二五）
□讀書紹介（五）ルイズ……山本つち子…（三〇）
□志道者の爲に……ルースレーガン…（三四）
□日本の若き姉妹方に……中西姮娜子…（三八）
□萬國學生祈禱日趣意書……（四一）
□問題の加州から一筆……河井道子…（四三）
□本部より一筆……（四四）

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「診察每朝及每夕 但祭日及日曜之他」
院長診察 月、木、金、午前及午後六時
林、峯間兩副長は目下當院に在勤
東京市麴町區三番町三十番地（市ヶ谷見附內）
電話六二番
番町五一六番

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日午後 入院診後應需
「診察每朝 但祭日及日曜及土曜之他」

NAKAYAMA SHOTEN.

IVORY CARVER.

Manufacture of

Damascen Ware, Bamboo Sticks Wooden Works & Japanese Curios.

No. 27, Bentendori Nichome, Yokohama.

TEL. NO. (HONKYOKU) 597

橫濱市辨天通二丁目
二十七番地
美術品並ニ
雜貨直輸出
卸小賣商

中山商店

電話本局五百九十七番

診察 每夕五時――七時（日曜、祭日休）
姙婦、乳兒、相談
入院 姙婦、產婦
保育 幼兒晝間保育（早朝――夕暮）

東京市本所區柳島梅森町五十五（錦絲堀終點下車）

贊育會本所產院

電話本所六〇三〇番、振替東京三九〇〇〇番

會員募集
通常會員 每月五十錢――一時金百圓以上
特別會員同 二圓――同 三百圓以上
維持會員同 五圓――同 千圓以上

理事長 醫學博士 木下正中

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

FURS & MILLINERY

D. KOMEYA,

Prop. C. YAMAOKA

WHOLESALE and RETAIL

A Largest collection of Furs, Coats, Stoles, Muffs, Slippers, Brocade Linings & Feathers. Water Color Pictures.

FUR DEPT.
No. 3 & 4, Bentendori, Itchome, Yokohama

PICTURE DEPT.
No. 14, Bentendori, Itchome, Yokohama

SUMMER BRANCH
Karuizawa, Shinshu

貴婦人令孃用

毛皮コート 襟巻 マフ スリッパー 羽毛

絹裏地 水彩畫類 其他毛皮製品種々

何れも最新流行形いろ〲取揃へてありますから多少にかゝわらず御用命の程御願ひ上げます、又た御贈答品としては最も好適品であります、御注文も御好みに依り入念調製いたします。



横濱 辨天通二丁目三、四番地
コメヤ號 山岡商店
電話長三[illegible]七〇

東京市京橋區南金六町一番地
コメヤ號 山岡商店
電話銀座一〇二五

夏期出張所
信州輕井澤

貴婦人紳士御愛用美髪料

ドクターペリース

ヘーアトニック

一瓶 壹圓

Dr. Perry's Hair Tonic

起床時ノ一滴ハふけヲ去リ抜毛ヲ止メ不快ナルかゆみヲ治ス

東都唯一外人經營化粧料藥品店

コロンビヤ蓄音機レコード東京代理店

東京市京橋區銀座尾張町

ホスピタル、フアマシー

銀座藥品部

電話銀座一五三五番

The Hospital Pharmacy

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事務用品一式
歐米文房具卸小賣
東洋萬年毛筆發賣元
リパテー萬年筆發賣元
各種文房具製造

東京文具株式會社

東京市神田區神保町通リ
電話神田三四七六番
振替東京七一五〇番

スピーア著
弘中つち子譯

ルイズ 定價七拾錢

此書はルイズと云ふ若い女の實歴を書いた物である。生れてより死るまで、纔に二十一年、唯是丈の短い生涯であつたけれど、望と信と愛とで一貫した、極めて美はしい生涯で、殊に他を感化する力の偉大であつたことは、彼女の誇りであり、彼女を斯くあらしめた基督教の譽である。何人が讀んでも益があらうけれど、特に青年女子の一讀を勸むる。

ポーター著
弘中つち子譯

パレアナ 定價 並七十錢 上一圓二十錢

此の物語は、米國閨秀小說家の傑作を全譯した物である。原作の出た年、十ヶ月間に十五版を重ねたことが、其の内容の如何を說明して居る。潔き一少女の言に行に現はす美はしいものは、必ず讀者の滿足する所であらうと信ずる。

發行所 **日本基督教興文協會**
東京築地明石町八
振替東京七一三四

發賣所 警醒社、教文館、岩波書店
基督教書類會社、伊藤書店

懇切誠實を旨とし
民、刑、事件の
御相談に應ず

辯護士 **神浦靜夫**

東京市芝區白金三光町三〇七
電話 芝 五千四百四拾參番

ミスコレル遺著新刊

□わらべの友（少年聖書讀本 畫十二葉入） 一、〇〇円

ミスパラード著

□美はしき生涯（メリー、モール傳） 、五〇

博士 コレル編毎週

□家族の祈（祈禱題を更へて一ケ月割當） 、二〇

文學士 柳原貞二郎著

□實業と基督教（傳道トラクト） 、〇六

神學士 山縣雄杜三譯

□神と世界（科學と神學との交渉史） 、三五

京橋區竹川町十七番地
日本聖公會出版社

女子英學塾同窓會主催
大音樂會

場所 麹町區丸の内 帝國劇場
電話丸の内（一七三〇ヨリ一七三五マデ 一五七〇ヨリ一五七四マデ）

時日 大正十年二月十一日（紀元節）（午後〇時半開場 午後一時開會）

出演者 ペッオルド夫人 安藤幸子夫人 永井いく子女史 鈴木のぶ子女史 ジェームスダン氏

會費 特等七圓 一等五圓 二等三圓 三等一圓 四等五拾錢

第十五回日本語教授法講習

時、大正十年一月廿二日ヨリ三月廿六日マデ（毎土曜日午後二時より開會）

所、東京牛込區市谷田町二ノ二十一本會事務所

會費、金拾五圓

志望の方は至急申込ありたし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人之友社の三大雜誌

「婦人之友」
毎月一回 一日發行
一册金四十錢 郵稅一錢五厘
主幹 羽仁もと子

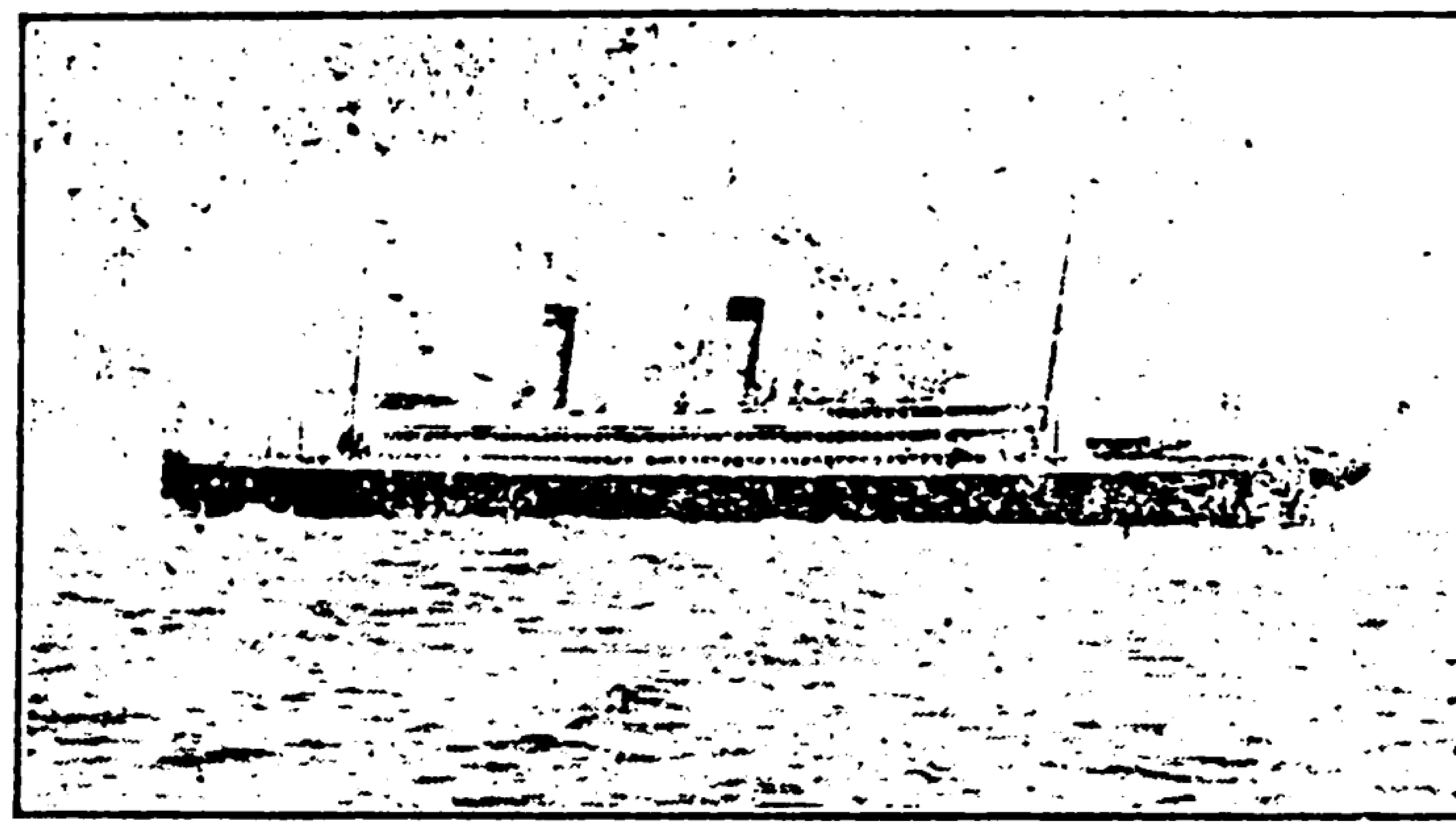
「まなびの友」
毎月一回 一日發行
一册金廿五錢 郵稅一錢
主幹 羽仁もと子

「子供之友」
毎月一回 一日發行
一册金廿五錢 郵稅五厘
主幹 羽仁もと子

東京雜司ヶ谷 婦人之友社
電話番町三六九八
振替東京一一六〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東洋汽船株式會社



本社 東京市麹町區永樂町一丁目一番地（電話丸ノ内一五三〇、一五三一、一五三二、一五三三番）

營業所 横濱市山下町五番（電話本局四四〇〇、四四〇一、四四〇二、四四〇三、四四〇四番）

出張所（神戸市京町八三番。香港、キングス、ビルヂング。上海四川路ノース、チャイナ、インシユランス、ビルヂング。マニラ、チャコビルヂング。桑港、マーケット街六二五、マーチャンツ、ナショナル、バンク、ビルデング。紐育、ブロードウエイ、一六五。ホノルヽ、アレキサンダー、ヤング、ビルヂング。）

北米航路（桑港、布哇ホノルヽ、横濱、神戸、長崎、上海、マニラ、及香港間）

本航路は太平洋航路中氣候温和、海上平穏なること第一にして船舶の巨大、設備の完全、待遇の懇切とに由り航海最も安全且つ愉快なり

天洋丸	三重螺旋タービン機	排水量	二二、〇〇〇噸
春洋丸	同	同	二二、〇〇〇噸
コレヤ丸	双螺旋機	同	二〇、〇〇〇噸
サイベリヤ丸	同	同	二〇、〇〇〇噸
波斯丸		同	九、〇〇〇噸

南米航路（香港、門司、神戸、横濱、布哇、桑港、羅府、墨國、巴奈馬、秘露及智利諸港間）

本航路は東洋南米間唯一の定期航路なり

安洋丸	排水量	一八、七〇〇噸
紀洋丸	同	一七、二〇〇噸
静洋丸	同	一四、〇〇〇噸

各寄港地及各國樞要都市に代理店の設置あれば船室保留並に發着日割等は最寄に就て御問合せを乞ふ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

DAISEIYA HOTEL

Honcho 6 chome, Yokohama Japan,

Phone. 953,2813. Honkyoku

御歸朝並に御渡航上に就ては萬事丁寧親切に御取扱申上候、
尚御歸朝の際は 無線電信にて 御通知被下候はゞ 御出迎可仕候

歐米各國汽船乘客貨物取扱所

廣島縣海外協會指定旅館
熊本縣海外協會指定旅館

大勢屋旅館

横濱市本町六丁目（櫻木驛前）

電話本局 園 九五三 二八一三

弊館は最新式 四層建築にして 各室電話の設備を有し歐米視察御旅客並に御携帯品、貨物等の取扱には最も高評を博し居り候

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子青年界　第十八巻二月號　大正十年二月一日發行

眞實への透視

高倉德太郎

「師よ見えんことを願ふ」之はイエスがエリコの邑はづれに來られたとき、盲人バルテマイが主イエスに縋つて云つた言であつた。今我等も此言を以てイエスに訴へたい。我らの心眼はかすんだり、くもつたり、やぶ睨みであつたりして、皆くるつて居る。我らは視力を回復して、凡のものを正しく見たいのである。

眼があれば見ざるを得ない、見て見ぬふりをする事は出來ても、そんなことをするのはいやだ、臭い物に蓋をしろといふ、然し强ひて蓋をする必要はなからう。よく人は信仰の名に於て、醜惡なものはなるべく見るなといふ。然し見えるならば仕方がないではないか。天をのみ見て、地を見るな、靈に眼をとめよ、肉に對してはめかくしをせよと。そんな不自然な、無理なことが出來るものでない。綺麗なものは綺麗で、穢いものは穢い、美人は美人で醜婦は醜婦だ。我等は馬車馬のやうに目かくしされ、之以外見るべからずと立札をたてられて、味もそつけもない人生の途を歩むことは御免を被りたい。我等は自由に眞實に大膽にわれらを圍む凡のものを見、その中から、眞なるもの美しきもの、正しきものを自分の中に取り入れたいのである。

聖書は我らに見るなとは敎へず、寧ろほんとうに見よと敎へて居るのではなからうか。神は見よとて天と地とを造り、月と星とを造つた。詩篇作者は、眞に天を見、日の出ずるのを見て歌つた。彼にとつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ては諸の天は神の榮光を顯し、大空は神の手のわざを示した。日は「新郎が祝ひの殿を出づるが如く」に彼には映じた。また第二イザヤと云はるゝ無名の豫言者は、鷲の天空をかけるのを見た。見て彼は神を全心全靈を以て俟ち望むものは新なる力を得る事恰もこの鷲の如くなるを念ひ得た。我等が歌ひ得ないのは、眞に見る眼を有つて居ないからである。

私はイエスの眼を思ふ。彼は如何に自然と人とを見たか。彼は慥に自然を見た。自然を見ぬいた彼には、草も木も、野も山も、鳥も獸も皆あらたな深い意味をもつて顯れて來た。野邊の百合はソロモンの榮華以上の、榮光をあらはし、牧場の羊は彼と弟子との關係を啓示した。又彼はたしかな、鋭い眼を人生にむけた。善きサマリヤ人や、放蕩息子の譬を深く玩味したものは、いかにイエスが人生の秘奥を見ぬいて、そこからつきない意味を汲みとつたかゞわかる。彼は生來の盲人の暗い運命のうちにも神の榮光を見通す程、徹底した眼光のもち主であつた。彼は正しく深く見る事によつて、自然と人生に於る事々物々を、その奥に潜めるあるものゝシンボルと見たのである、彼が人生の旅路に於て、見ることによつて、蒐めた寶玉は、みな美妙なる譬と化して彼の口からもれて來た。見ることが如何に偉大な結果を生むかを知らんとならば、イエスの譬を見るに及くはない。私はラスキンの有名な言を思ひ出す。「人の魂が此の世界に於てなす最も偉大なことは、あるものを見、見たところのものを、平易な方法で語ることである。數百の人々が、考へ得る人のために語ることが出來る。しかし數千の人々が、見得る人の爲に考へる事が出來る。明かに見ることは、要するに詩であり、豫言であり、そうして宗教である」。彼はまた「近世畫家」の中に大空の見方を説いて居る。我らはともすれば大空を一種の凹面の如く考へ、之を眺めあげる。然し空は液體の如きもので、之を透視しなければならぬと彼は教へる。雲は空といふ堂宇の下にかゝつて居る別個の物體でなく、空といふ液

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

體の中に層をなして浮んでゐる物體である。ワーヅワースの句をかりてもつと詩的にいへば、大空は「永遠無窮の星の棲息する一個の深淵」である。ほんとうに見ることが大事だ。我らは眺めることが多くて、覗き込む事が少い。我らが自然や人生を見ることは、大空を天井のやうに眺めるに等しい。たゞ事象の皮相をかすつて、その眞髓に徹するまで透視し得ない。我等は毎朝新聞の三面記事を見る、どんなに悲慘な事件が載つてゐつても、ハヽアコンナ事があつたかと思ふに過ぎない。大した印象を受けずして讀過して行く。我等の日々の生活を考へて御覧なさい。私は之を新聞の三面記事を見る如しと云ひたい。我等はほんとうに人生を見ずして、表面をちらと瞥見してあわたゞしく通つて行く。こんな生活を何百年、何千年くり返しても、決して眞の意義ある生活は生れて來ない。我等は人生をいたづらに眺めずして、之を透視しなければならぬ。

ロダンの言葉を引いて來る「藝術家は普通の人が見る樣に「自然」を見ないといふことを是認します。彼の感情が外觀の下に潛む内面的眞實を彼に啓示するからです。だが結局藝術の唯一の原則は見るものを模寫する事です」彼も亦藝術に於て見ることを最も重んじた。彼は眞に見得た人である。だから「鼻のつぶれた男の首」や皺くちや婆さんの像に於ても美を認め得た。彼は一見醜と見ゆるものゝ中からも美を見出した。彼にあつては自然のうちで性格を有つてゐるものゝみが美であつた。性格は外的にも内的にも眞實を有つてゐるものに顯はれる。眞實のみが彼にとつては美である。とにかくロダンは稀に見る程、凡てのものに於て眞實を見ぬく鋭い眼の持主である。彼は普通人の醜と見るものゝ中にも、まことの美を認め、一般に美と認めらるゝものに必ずしも價値を置かない。彼に眞に見ることによつて、美醜の價値を或意味に於て轉倒したとも云へる。斯の如く深く人生を見る事は人生の價値轉倒を來すことである。イエスを見ればよくわかる。彼は徹底し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て人生の眞實を見た。彼の透視によつて人の魂はことごとく赤裸々にせられた。僞善なるパリサイ人への彼の評言をみなさい。姦淫の女、税吏への彼の讃辭を考へなさい。さうすればこの事はすぐわかる。彼によつて、高ぶるものは卑くせられ、眞に苦しみ悲しむものは慰められた。次にパウロが來る。彼は「わが主キリスト・イエスを知ることの優れたるために、凡ての物を損なりと思ひ、彼の爲めに凡ての物を損せしが、之を塵芥の如く思ふ」と云つてをる。彼は眞にキリストを識り、キリストを識ることによりて、凡の物を「永遠の相に於て」見ることが出來て、先に益と思ふた事も損と思ふに到つた。彼はキリストによりて徹底的に事物を見る事を敎へられ、全く人生の價値轉倒を經驗した。我等は信仰を有つてをるといふ。然し我等は信仰なき人とどれ程物を見る見方が違つてをるであらうか。信仰とはほんとうに人生を見ることとである。我等は人生を見ること淺きが故に、基督者といひながら殆ど日常生活に於て價値の轉倒を經驗しないことを恥ずるものである人生を眺めずして透視せよ、必ずそこに價値轉倒が生じて來る。

　ほんとうに見ることは、ほんとうにものを所有することだ。見ることなくして、本質的な尊いものを魂の中に取り入れることは出來ない。我等はよく考へるといふ。然しからつぽな頭を、いくらたてよこにふつて見たところが、何もそこからえらいものは出て來やしない。考へるといふと何だか偉さうに聞える。然しそんなこけ嚇しにまいる必要はない。我等は考へる前に見なければならぬ。見る事によつて考へる材料を與へられねばならぬ。見ることとは「全宇宙を自己に取り入れる」ことである。見ることによつて自然から人から生命が我がうちに流れ入る。見ることにより生命が攝取せられてこそ、我等は之を他にも與へ得るのである。見ることなくして他に語り、他に與へんとするのは無理である。ベトーブェンの「田園シンフォニー」は如何にして作ら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れたか。彼は之を作る頃には、既に耳が聾してをつた。彼は輝き渡たる自然の音樂を眼で攝取したのである。彼の創造的過程をワグナーは次の如くに説明する。

「外界はベートーブェンのためには全く消滅した。それは盲目が彼から外界の眺めを奪つたからでなくて聾がつひにそれを彼の耳から距てたからである。けれどそれだけます／＼音樂家の眼は内部から照された。今や彼は彼の内部からの光に照されて、妙なる反射をもつて再び内部に傳達せらるゝ現象に視線を向けた」と。彼の目は自然界のあらゆるものゝ本質につき入つて、そのリヅムを捕へる事が出來た。彼にとつて見る事はやがて、自然界に流れてをる生命の律を攝取する所以であつたのである。

一體外面的な刺戟の大小によつてその人の生活の眞價がきまるものでない。刺戟の強い、多い環境に居りながら、其内面生活の見すぼらしい程空虚な人がある。之と反對に外部の刺戟は少く弱いやうであつても、之に應答する事が鋭敏で、その内部生活がいき／＼として充實した人もある。朝から晩迄てんてこまいをして大に活動してをるごとく見へる人が必ずしも眞に生きてをるのではない。外部生活は平凡に單調に見えても、内面に於て刺戟に健全に強く應答することによつて、纖に生命の焔を燃してをる人が、却つて眞に生きて居る事もある。言ひかへれば、たへず忙しそうに周圍を眺め廻して居る事が眞に生きることでなくて、凡てのものゝ眞實に迄見入る事が眞に生きることである。我等は決して外部生活によつて其人を批判してはならない。

深く見ることとはまた凡のものを表徴化することゝなる。見ることの出來る人にとつては、彼にうつる自然や人生の事々物々が、ある深い眞理のシンボルとなつて顯れて來る。此點に於てもイエスを見ればよくわかる。彼は「我はパンなり」といひ、また「我は葡萄の樹、汝等は枝なり」と云つてをる。彼は日常誰の目にもとまる平凡な事物をとつて、自己の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

意義をあらはしてゐる。或はまた彼は自分を光となし、生命となし、醫者といひ、牧者といふ。如何にも彼の本領をぴつたりとうまく言ひ現す。殊に彼は最後の晩餐に於て、パンを弟子にさき分ちて、之は我が肉なりといひ、葡萄酒をくみ分ちて、之は汝らの爲に流す我が血なりといつた。平明にして然も何たる深い言葉であらう。彼は少しの無理もなく自然に日常の些事を表徴化し得た。物質に意味を與へ、肉を靈化する力に於て彼は無比なりと云へる。彼は鋭い強い透視力を有つてをつたから、かくの如く深い表徴化をなし得たのである。私は進んで考へる。イエス自身が既に見えざる偉大なる者の表徴でなかつたか。ヨハネは此のことを「言肉體となりて我らの中に宿りたまへり。我らその榮光を見たり、實に父の獨子の榮光にして恩惠と眞理とに滿てり」といふ深い言であらはしてをる。イエスに於て言が肉となる、世に之ほど大なる眞理はどこにあらう。げに目ありて見るものは見るべしである。イエスに於る化身は基督教の中心眞理ではないか。パウロの「光、暗より照り出でよと宣ひし神は、イエス・キリストの顏にある神の榮光を知る知識を輝かしめんために我らの心を照し給へるなり」といふ言を私は限なく愛する。「イエス・キリストの顏にある神の榮光」何たる美しい深い言であらう。私の魂は全く此言に吸ひ込まれてしまふ。パウロはほんとうにキリストの本質を見ぬく事が出來た。まことにキリストに於て言は肉となつた。彼は宇宙の最高實在のシンボルである。見えざる神を、見ゆる姿に於て認めんとする人類の衷心の希願はキリストに於て全ふされたのである。

最後に正しく深く見得んが爲めにはどうすればよいか。簡單に云はふ。まづ愛することによつて人はだん〳〵見ることが出來るやうになる。野も山も小川も青空も、鳥も獸も、之を愛し得て、始めて、その意味にまで覗きこむことが出來る。愛することによつて見いることは、自然の生命をわがうちに吸て

む所以である。殊に人の魂の眞相はそれを愛することによつて、始めて見られ得る。愛を感ぜずして決して人の魂はわかるものでない。我等はしば〱魂の外皮に眼をさえぎられて、彼は善人だ、彼は惡人だ、彼は君子だ、彼は小人だと、植物學者が植物を分類するやうに、人間を機械的に分類する。然し人はそんなに無雜作に型にはめて分けられるものでない、うわべは享樂氣分の流れて居る人でも、內には奪ふことの出來ない眞實を有つてをることがあり、外は謹嚴なる君子の如き人でも、內から見れば、興の醒めるほど、肉感的なエゴイスチック人もある。たゞ愛し得るものゝ目にのみ、他の魂の內部は啓示せられる。我らの魂はキリストの愛に培かはれることにより、深く正しく見得る目を與へられる。また祈禱は我等のくるつた靈眼を調整する。祈によつて我等の魂は、凡の物を「永遠の相に於て」見ることが出來る。「神の光に於て光を見る」ことを可能ならしめるものは祈である。祈によつて明かに鋭くせられた心眼は、暗き運命の內部をも覗かしめるものだ。祈りを怠る事によつて、いかに我等の眼はくもり、にぶくなることであらう。我等は見る事を得ん爲、「眼藥を買ひて塗」らなければならぬ。祈は靈眼にとつての眼藥である。

「眞實は汝等に自由を與ふべし」とイエスは云つた。彼の眼光はほんとうにものゝ眞實をつきさすことが出來た。彼の眼が眞實に徹する事によつて、彼は眞の自由を享有したのである。私はあらためてイエスの眼を思ふ。皮相を徹して眞實をとらへ得た彼の眼を思ふ。彼を信じ、彼を愛することは、彼の眼を與へられることだ。彼の眼を與へられることによつて、我等は凡のものゝ眞實に徹し、之を掴みたいのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ピリピ書講解（七）

――二ノ十九―三〇――

佐波　亘

□パウロほど人間に興味を有つた者はあまり多くあるまいと思ひます。彼は到處に友をつくりました。彼には未見の友さへもあつたのです。ロマ書十六章は彼に就て此等の點を物語ります。使徒行傳や彼の書簡を見れば更に詳しく此邊の消息がわかります。勿論、彼には多くの敵がありました。然し乍ら彼にはそれよりもさらに多くの友があつたのです。

□此書簡は必しも論理的に記されてありませぬ。と言ふのは彼はこれまで神學上の議論をつゞけて來ましたのに、こゝに至つて突如として友情に訴へて居るからです。然し乍らそれが却て讀者を動かす大なる力になつて居ます。

□「われ汝らの事を知りて慰安を得んとて、速かにテモテを汝らに遣さんことを主イエスに賴りて望む……………」（ピリピ書二ノ十九）。パウロがピリピ人を思ふ心の如何に熱心なるかを見よ。それと同時にたゞ單に然か望むといひても可なる場合に、彼が主イエスに賴りてと言へるに注意せよ。彼は如何なる場合にも主イエスと離れ居る能はざる者であつたから、また從つて不用意の間にもその事が洩れるのでせう。

□「そは彼のほかに我と同じ心をもて眞實に汝らのことを慮ばかる者なければなり」（二ノ二〇）。何故かと言へば、テモテはパウロがピリピ教會を建設した當時の同勞者であつたからです。のみならず彼はまたパ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ウロと同じやうな心を有つた人であつたからでせう」(コリント後書十一ノ二十八)。

□「人は皆イエス・キリストの事を求めず、唯おのれの事のみを求む。されどテモテの錬達なるは、汝らの知る所なり。即ち子の父に於ける如く我とともに福音のために勤めたり」(二ノ二十一、二十二)。「人は皆イエス・キリストの事を求めず、唯おのれの事のみを求む……」。讀み去り讀み來つて、己が靈魂の姿を赤裸にして見せつけられるやうな心地がします。世間でよく無我といふことを言ひます。そして語それ自身が神秘的なので、何となく人を引着けます。然しながら基督教では無我ぐらゐでは駄目なのです。十字架教はたゞ單に無我ではありません。そこにはいつも「イエス・キリストの事を求める」一念があることを必要とします。それは措て置き、諸種の團體生活に於て、其成長と發達を妨ぐる者は何であるかといへば、「人は皆イエス・キリストの事を求めず、唯おのれの事のみを求む」といふ點にありはしますまいか。(テモテに就ては使徒行傳十六、十七、ピリピ書一ノ一、コリント前書四ノ十七、同十六ノ十、テモテ前書一ノ二、テモテ後書一ノ二參照)

□人は皆君召せば駕を待たずに行く底の用意があつて欲しいものです。病める時も健康な時も、富める時も貧しき時も、多事な時も閑散な時も、いつ如何なる場合に於ても、キリストに奉仕する精神はかたく有ちたいものです。テモテは此點に關して眞に錬達の士であつたのです。

□「この故に我わが身の成行を見ば、直ちに彼を遣さんことを望む。我もまた速かに往くべきを主によりて確信す」(二ノ二十三、二十四)。こゝにパウロは己が身の成行に就て少し洩らして居るのです。キリストの爲にロマにて囚人となれる彼の運命が如何に成行くかは餘り長いことではあるまいと言つたのです。「主によりて確信す」とあります。これもパウロの筆に屢々表はれた書き振りです(一ノ十四、二ノ十九、コリント前書四ノ十九)。形式的にかゝる文字を使用するのは如何かと思ひますが、信仰生活に於ては斯る語が常に自然に發せらるゝやう

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にしたいものです。

□若しパウロがピリピ書を、コロサイ書、エペソ書、ピレモン書よりも前に書いたとすると、「遠かに往く……」とあるは、どういふ意味で言つたものか問題です。と言ふのはネロ帝の處分の仕方は一向に見當がつかぬ筈だからです。それは皇帝の性情がそのことを語つてます。然し乍らパウロは此頃には最早スペインまでも傳道旅行をせんとの企劃を捨てたでせう(ロマ書十五ノ二十八)し、それに彼の心は專ら東方へ引かれて居つたのは事實です。何となればパウロはカイザリヤ及びロマに於て幽囚の身であつたから、彼が彼の不在中に起つた事どもを整理せま欲しく思ふのは人情でせう。それから彼の不在に乘じてノスチックの一派が教會を攪亂したこと。それらはやがてパウロをして東方への歸心を矢の如きものたらしめたに違ひない。されば若しも彼が解放されたとしませうか。彼は直ちにピリピへ飛んで行つたに違ひありません。

□それはとにかくパウロの足跡は、ミレトス(テモテ後書四ノ二〇)エペソ(テモテ前書一ノ三)マケドニア、それから多分ピリピにも(テモテ前書一ノ三)またトロアス(テモテ後書四ノ十三)ニコポリス(テトス書三ノ十二)にも印せられて居ります。それ故パウロはテモテが行きましたやうに、彼は再びピリピに行つて、教會の人々に會つたに違ひないと思はれます。(テモテ前書一ノ三)

□「されど今は先われと共に働き、共に戰ひし兄弟すなはち汝らの使として我が窮乏を補ひしエパフロデトを汝らに遣すを必要のことゝ思ふ」(二ノ二十五)。即ちエパフロデトがパウロのこの書簡(ピリピ書)を持つて行つたことがわかります。勿論、彼はテモテに及ばない人物であつたかも知れません。然し此場合その使命を全うし得るものは彼の外になかつたのです。人は皆モーセたるを要しません。アロンたるも亦可なりです。必しも亦ルーテルたるを要しません。メランクトンであることも大切です。我は我であつて一向に差支なく、主の御用を奉ずることが可

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

語るのです。

□「彼は汝等すべての者を戀ひしたひ、又おのが病みたることの汝らに聞えしを以て悲しみ居るに因りてなり」（二ノ二十六）。エパフロデトはホームシックにかゝつて居たらしい。そこでパウロは深く彼に同情して旁彼を使者に立てた點もありませう。同情心は實にパウロの生命でありました。キリストの心を有てる者は正に然かあるべき筈でせう。私共は如何ですか。

□「彼は實に病にかゝりて死ぬるばかりなりしが、神は彼を憐みたまへり。啻に彼のみならず、我をも憐み、憂に憂を重ねしめ給はざりき」（二ノ二十七）。人生の事、わけても苦難の境遇よ、大局から達觀すれば――言ひ換れば基督の十字架の下にて瞑想すれば――そこにも神の憐みの至らぬ隅なきを發見するでせう。實に「神は我を憐み……憂に憂を重ねしめ給はざりき」と感謝せざるを得ぬ場合が多いでせう。

□英語に It never rains, but it pours といふ格言がありみす。懊惱苦悶に對して斯る見方をするのも一つの方法でせうけれども、それは到底「神は我を憐み……憂に憂を重ねしめ給はざりき」といふ事實を發見した場合の歡喜には及ぶべくもないでせう。

□「この故に急ぎて彼を遣す。なんぢらが再び彼を見て喜ばん爲なり。又わが憂を少うせん爲なり」（二ノ二十八）。他人の喜は反射して己が喜となるものです。他人を喜ばすことはやがて己の幸福の基となるものです。動あればそこに必ず反動あることは、たゞに物理界に於ける事實のみではありません。それ故幸福な生活を送りたいと思ふ者は、努めて他人の幸福をはかるべきです（コリント後書十一ノ二十九）。

□「されば汝ら主にありて歡喜を盡して彼を迎へ、かつ斯のごとき人を尊べ」（二ノ二十九）。「斯のごとき人」とはどんな人のことでせうか。それは主の爲めに勞する人、キリストの戰士、靈界の偉人、信仰の凱旋將軍のことです。今日「斯の如き人」は如何なる待遇を受けて居るでせうか。一考を要します。一般に

世の人の目は見ゆる事情の方に向けられても、どうか「斯のごとき人」を忘却せぬやうにしたいものです。

□「彼は汝らが我を助くるに當り、汝らの居らぬを補はんとて、己が生命を賭け、キリストの事業のために死ぬるばかりに爲りたればなり」（二ノ三十）。こゝは彼のジョン・マルコ（使徒行傳十五ノ三十八）と對照して見ると頗る興味が湧きます。彼は實に約翰默示錄十二ノ十一に記されたる如き人物即ち「死に至るまで己が生命を惜まざりき」とあるに適應たる人物でありました。こゝにはまた「己が生命を賭け」とあつて、パウロは賭博の語を用ひました。實際エパフロデトがロマに來たのは、當時の事情を考へて見ると、實に賭博のやうなものでした。然し人生は――ことに偉大なる人生は――賭博です。冒險です。昔、クリスチャンはキリストの爲に、生命賭けの事をする人々を Parabolani = The Riskers と言つたさうです。プリスカとアクラ夫妻の如きもそれでした（ロマ書十六ノ四）。

チャーレス・キングスレーのハイパチヤには人の靈魂の爲めに危險を冐す人々のことが記されてあります。基督者は常に The Risker であらねばなりません。

Oh! to live in the spirit of prayer!
I feel it is the secret of real religion,
The main spring of all usefulness.

Catherline Booth.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

英 文 欄

Wearing a Yoke

Take my yoke upon you and learn of Me, for I am meek and lowly of heart, and you shall find rest for your souls. For my yoke is easy and my burden is light. Matt. 11 : 29-30

Can you remember any time when you rebelled against something your mother or your teacher wanted you to do, because you thought it wasn't right? And now as you think of it while you are older you know that it was right, and that you were learning to be what your mother or your teacher wanted you to be. But if you had had you own way about how your life should grow, it would have been in a very different manner, wouldn't it. Are you not glad now that you were *trained*, and that you learned that the thing you wanted most was not the thing that was best for you? I know a girl who has always had what she wanted, and she is not a happy person, nor a helpful one.

The word "yoke" in the verse at the top is the term for a piece of wood (kubiki) used in almost all countries to enable people to carry heavy loads with ease. You can carry heavy articles in that way much more easily than you can in yourhands. Do you see why Jesus used this word? Somtimes we feel that our troubles are so heavy that we must put them down and run away from them. But we soon learn that that only means more troubles aud a greater unhappiness. Jesus aoes not say, "Run away from your troubles", He says, "Take my yoke upon you and learn of me, for my yoke is easy and my burden is light". Learning means studying and trying and growing each day in our power to carry the burdens lightly and smilingly, so easily that we can help other people carry theirs, and not be weeping because our own troubles are so much greater than anybody else's. Don't you want to learn to wear His yoke?

But oh! it is so much easier just to be angry, isn't it? Have you ever said, "I won't speak to her again?" Why? Does that

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

make you feel any better, does it make you grow any, does it make the world any better? That isn't wearing the yoke of Jesus. Can we think of Jesus' being angry at someone who criticized Him, or laughed at Him, or talked about Him?

(Jesus was angry at some things. What things? Are you angry at the right things?)

There is a wonderful English novel named "Fortitude" which means bravery or courage, which is the story of a man's life, in which he has to learn how to live. It is a long story, and near the end of it the man is almost going to give up trying to live, life seems too hard, and then someone tries to show him that it doesn't matter what happens to you, if *you* do not fail. But it was a hard hard struggle for him to be willing again to face his troubles, and it was only after he had learned that the yoke of lowliness and meekness would help him, would give him new courage, that he said, "I can", and he went back to live his life, not selfishly, but lovingly, and to think of other people's troubles beside his own.

It is a wonderful power, this yoke, and yet somtimes we think our own strength is enough for everything, and we do not need this help. We learn slowly to wear it, to put our burdens and our meek and lowly of heart. Then I think we are not quite so proud of ourselves so afraid of being hurt, so timid before people who seem stronger than we. And we learn it by having troubles to carry. Sometime we will see that it is a training into the kind of persons we wanted to be, only we didn't think that was the way to learn to be that kind of person. God is teaching you and me.

Jesus has said that if we really ask for something with our whole hearts that God will give it to us. Shall we not ask Him today to train us into the very best kind of women? And if that means we must go through troubles and temptations will we not try to wear His yoke, and to be willing to be trained? For real growth is not growing like a weed in the garden, it is careful training, and sometimes a cutting off of branches that we cherished. What kind of person will you be in ten years?

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

プレシコフスカヤ（一）

森田松榮

カザリン・ブレシコフスカヤは「革命の祖母さん」なる懐かしい名によつて、廣く知られてゐる婦人である。

本年とつて八十七歳の彼女は、一八四四年、波蘭出の貴族を父とし、ロシヤ出の貴族を母としてロシアに生れた。この二人は、ブ女史が兩親の話が出ると、いつでも顔を輝かして、

「立派な兩親でした。私に善い點があるとすれば、それはみんな兩親のおかげです」

といふ程、善い人々であつた。

父はヴェリゴといつて、頭の大きな、額の廣い人の善さゝうな碧い眼の、凛々しい品のいゝ美しい人で、むづかしい顔や風をする時でも子供達に怖がられたことはなかつたといふ。兩親ともに敵を作つたことはなかつたが、父は淡白卒直で、不正に對しては烈火の如く激した。彼の他の地主達の虚飾や、彼等が召使をこき使ふことなどを、遠慮會釋なく責めて怒鳴つたが、人に含まれる樣なことはなかつた。彼はみんなに敬愛された。彼は靜かに座つて、自由主義の作家の著述を讀むのが好きであつた。

母は父ほど端麗ではなかつたが、聰明で人好きのする顔、優雅な態度の、申分ない氣轉の人であつた彼女は首都の有名な修道院に學び、純眞な信仰の人であつたが、希臘教會の儀禮は意に介せず、福音と男女聖徒の物語とで子女を教育した。母は善愛同情の心があつく、又清潔好きで、子供等はいざ他所行といつて着換の必要のない程、いつもちやんとした服裝をしてゐた。家庭はいつも平和であつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

カザリンは癇性で、三歳の時ひどく怒つて、母の眼を棒で擲つたことがあつたが、母の躾で、抑制が出來るやうになつた。

子供の時、彼女はいつも自分の無數の「罪」に惱んだといふ。

「私は罪を犯してはすぐに後悔し、いつも惱んだ」

四歳の子の罪？　フランス語を話せといはれた時にロシア語を話したり、膨れ面をしたり、厭な文法書を學び澁つたりするのである。すると母はカザリンの小さな胸が「バタのやうに溶けて」涙が頬に流れるまで、淳々といつてきかせる。カタヤは善い決心を一杯して寢る。が、翌日になると、フランス語の代りに又してもロシア語を話す。

子供達が散歩に出かける時、カタリナ丈はいつも一人別になる。彼女は孤獨が好きで、物事を檢査しては、考へ込む父の癖を受けてゐた。これは彼女の主な「罪」の一つで、家庭教師もホト／＼持餘して了つた。彼女はきつと連から隱れて了ふので、大騷ぎして搜し出さなければならなかつた。一人のドイツ人の家庭教師は、彼女がいきなり見えなくなつて了ふ癖にすつかり腹を立てゝ云つた。

「カザリンは蜘蛛だ！」

カタヤは牧場で牝牛の草を食むのを眺めたり、召使の小屋で、農夫の子供や母に入り混つて、彼等の生活を研究したり、一人々々の百姓女とその心配を共にしたりするのが常であつた。

幼な心に、彼女は、父が使つてゐる數百の奴僕の狀態と、彼女自身の家族のそれとの、甚しい對照を鋭く刻みつけられてゐた。カタヤは、農夫の子供の手を引いて、自分の立派な邸に案内し、美々しく裝飾した幾つかの部屋を通りぬけて、居間で讀書か編物をしてゐる母のところに連れて來て、

「この可哀想な子供を見て頂戴な」

と頼む事も屢々あつた。農夫の子は、足は皮許り、お腹に膨れ顔は汚れ凹んで、着物は襤褸であつた。母にはこれは當り前のことだつた、金持の少女が穢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ない農夫の子を母の居間に連れて來る方が却て不自然だつた。
母は召使達には情深くなさいとカタヤに敎へた。カタヤは召使達と一緒に居るのが好きであつたが、母はそれを見つけ次第、
「カタヤ、此所はあなたの居るところではありませんよ」と云つて連れていつた。カタヤは左の如く後年書いてゐる。
「私達は、善盡し、美盡した宏壯な邸に住み、周圍には美しい公園や花園があつた。邸は、其地方に散在してゐた貴族達の家族や、殊に年に數回ある大祭日の間、諸地方から來る客の爲に開かれてゐた。彼等の馬車は中庭に一杯になり、様々な階級の僕婢は廊下や控室に群がつてをり、化粧を凝した婦人や、禮裝の男子は、素晴らしい食卓を圍んでゐた。食卓には、首都や遠くパリで腕を磨きあげた料理人の調理した山海の珍味が、山と盛りあげてあつた。ロシア貴族は豪奢を愛し、人の使ひ方を上手に心得てゐた。上流の家庭には。オーケストラ、俳優、聲樂者の一群があつて、此等は、料理人、召使、乳母等と同樣、みんなロシア農民であるが、皇帝の眞似をして、盛んな見得を切つて、小さな宮庭を造らうとしてゐる主人の意見によつて、それ〲の役に仕立上られてゐたのだつた。
然し活々した想像力と暖い情と、活潑な心とを有つてゐる子供を牽きつけたのは、貴族の邸宅許りではなかつた。他の地主の住宅の附近同様に、父の邸宅の附近にも、所謂「村」といふみすぼらしい小屋の長い通りがあつて、櫛の齒を入れた事もなければ湯にも殆ど入つたことのない大きな頑丈な人達が、粗い布子を纏つて住んでゐて、主人とか其家族とかゞ通るのを見ると、あはてゝ頭巾を脱いで、地面にすれ〲に頭を下げる。彼らは土百姓であつた。彼らは日の出ないうちに起きながら、夜遲くまで寢ることが出來なかつた。といふのは、畑、牧場、森、穀物倉、厩、公園等到る處で、いつも彼等は働かな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ければならなかつたからである。彼等はほんの一寸した過失の爲に、主人の氣紛れから、怒鳴られたり、鞭で打たれたり、シベリアへ流されたりした。彼らの妻や娘は、主人又はその息子の妾にされる爲に連れていかれ、子供は、奴僕として仕込まれる爲に勝手にさらつていかれた。男達は家族が饑餓に迫つてゐるので、主人にパンを乞ひに來、女達はさらはれた子供を、返して下さいと云つて、泣いて賴みに來た。私はこんな恥かしい汚らはしい悩ましい事を目のあたり見て、痛憤の餘り茫然として了つたことも幾度か。羊の番をしてゐる中に眠つたといふ、たつたそれだけの落度の「犯罪者」の爲に、父の前に跪いて赦を乞ふたことも幾度であつたか。數百の奴僕等が、跣足で寒さに震へながら、主人の出て來るのを終日中庭で待たせられた揭句、これも自分達の馭者の手が凍るまで待たせておく貴族達と、賭博で夢中になつてゐる主人から、唯一言の挨拶もなく、追返されるのを見て、憤慨したのも幾度か。

「かういふ事は、私の幼な心を責め苛んで、床に入つてからさへも、周圍の恐ろしい事どもを考へて幾時間も眠れなかつたりした。

「私には、充分に農民の生活を觀察する機會があつた。彼等は彼らの社會生活に關する萬事を私の父に相談する爲に集つて來たし、さういふ時には、いつも彼らの言分をきく爲に、私は父の傍に座つてゐた田地、森、牧場、小屋の建築、税、道路の開設、沼の排水が問題であつた。新兵募集に就ても問題があつたが、これは當時、ロシア軍隊に息子を出したのは、農民許りだつたからである。私は子供ながらもなぜ此正直な人達が、仕事や納税の負擔を一手に負はなければならないのか分らなかつた。父は善い人ではあつたが、奴僕の利益よりは、自分の利益を遙に重視してゐるのを私は知り、貧富の間の不公平が私の心に泌み込んだ。

「屢々私は家を脱け出して、近くの村に獨りで出かけて、農民の小屋を訪ねた。其所には話相手もなく

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

饑えた老人が臥つてゐて、働くことの出來る人間はみんな畑に出て、日がな一日夜まで勞働しなければならないのだつた。汚れ窶れた幼い子供達は、泥や埃の中で喧嘩をしながら、犬と、又は豚とさへも一つ皿から食べてゐるのであつた。農民は日曜の度に私の家の所有の教會に行つて、涙を注ぎ出して、一心不亂に祈り、なけなしの銅貨を獻げて「どうぞ來世では仕合に生活せますやうに！」と彼等の唯一の希望を祈願するのであつた。

「八歳の時以來、私を惱した問題は、どうしたら正義が獲られやうかといふ事だつた。」

然し、ヴェリゴ家は、他の一般のロシア地主よりは、餘程心して其奴僕を扱つてゐた。彼女の父は一度でも僕を鞭たせた事はなかつた。彼らの奴僕はそれを知つていつも自慢して、

「俺達はヴェリゴ家の屬だぞ！」

と得意がつてゐた。カタヤは隣人達との話しの中で其人達の奴僕と、彼女の父の奴僕との、境遇の相違を云ひ出すと、

「そりや、あなたのお邸は共和國ですものね！」

と云ひ返されて、二の句がつげなかつた。

子供の發達の或期にあらはれる何でも欲しがる慾望はカタヤには全くなかつた。手に入つたものは、ありつ丈やつて了ふといふのが彼女の質であつた。燒き立ての菓子でも、貰ふとすぐ召使の一人にやつて了ふ。新らしい玩具を貰ふと、一日と經たない中に農夫の子にやる。震へてゐる半裸の者にやつて了つて、外套や着物なしで、彼女が家に歸つて來ることも度々であつた。母に叱られると、かう答へた。

「母樣、誰でも二枚の上着を有つてゐたら、一枚を貧乏人におやりなさいつていふ福音書を、母樣は私達に讀んで下さつたのに、私がその通りにするのをどうしてお怒りになるの？」

彼女は何よりも人間に興味を有つた。

或時彼女は、髪を剃り跣足で、重い鎖に繋がれ、監視されて、町をゆく一群の人を見た。彼女はいた

ましい姿にひどく心を打たれて、

「誰？」と母に訊いた。

「氣の毒な人達――世渡りの道を踏み損なつて、おちぶれた人達。」

と母は答へたが、彼女の疑問は晴れないで、質問を連發したが、何の答も得られなかつた。

然し彼女の念頭を離れなかつたのは、農民の一大階級であつた。彼女は彼らを助けて幸福にすることを夢想した。彼女は自分を廣大な土地の女主人に見立てゝ世界中の可哀想な奴僕達が、ありつ丈來て住んで、綺麗な着物を着、お腹一杯食べて、心配なしに日を送る樣を想像したりした。

靜かな夏の午後など、高い草の中に臥そべつて、羊毛のやうな雲の群のある空を眺めてゐると、遠い丘の上をたま〳〵馬車が通つていく。浮いてゐる雲は一つ一つ、彼女が聞いたり讀んだりしたことのあるもの――木、巨人、町、丘、谷――何かしらきまつた形を有つてゐるやうな氣がする。かういふ雲を背景にして彼女は空中樓閣を築くのであつた。

彼女はアメリカの事、コロンバスと其仲間とが、金を捜しにいつて、澤山見つけたことなどを聞いたことがあつた。彼女はカリフォルニアに行つて、奴僕に持つて來てやる爲に、山のやうに財産を作らうなどゝ考へた。廣大な土地――それはあの雲の中にあつた、多くは島だつた――を買ふ、其所に農民が住んで、肥えた土地を耕す。いろんな色の雲を眺めてゐる中に、彼女は自分が想像したいと望む通りの世界を見るのであつた。

カタヤは、カリフォルニア計畫に就て、思つてゐる通りを話すと、家族の人達はそれを笑話にした。

「でも、多勢の人が彼所からお金を持つてきましたものと」彼女はあどけなく答へた。（つゞく）

附言　私はブレシコフスカヤの記事を以前讀んだ時から、女史を敬慕してゐましたが、一昨年女史が日本に來られた時、親しく逢ふ機會を與へられ、其後、女史の詳傳を讀むに及んで、益々感銘を深くしました。誌面及び其他の事情の爲、遺憾ながら全譯は出來ませんが、本號から女史の傳記を記載し得ることは私の深いよろこびで又感謝であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四つの祈禱

村岸榮子

「人の全精神が全我をして、神秘的力と個人的關係及び接觸に來らしむる活動」は是即ち祈禱であるとは佛人サバティエーの言である。誠に祈禱は、人が全人格を擧げて神と意識的に交通する精神生活である。義と愛と至誠とに基く神人の靈的合一である。私は此の祈禱を四つに區分してしばし書き記して見たい。

一、祈求（哀願）

人間の要求は多種樣であるが、孰れも祈求哀願の形式に於て表白される。疾病、災厄、不幸、失敗、死等の不斷に我等を强迫し壓倒する不可抗力に對して、人は或は是より逃れ或は是に打勝たうとする要求を以て、超人神に哀求するのである。此の場合、救助に對する要求は、哀願祈求の形をとつて現れた祈禱である。亦人間は誰しも、理想に對する情意の內面的不調和、たとへばパウロか願はざる不善をなすに苦しんで、「あゝ惱ましいこの死體を救つてほしい」と沈痛な叫びを發したあの心的矛盾苦を共有する者である。而して此種の苦悶は我等に、「我を救ふ者は誰ぞ」と絕叫せしむるに到らねば止まぬのである。この願ひ、この叫びは心的に救はれ樣とする要求が、安靜又は安心立命の祈求となつて現れた祈禱である。更に人は眞理や審美に對する智的、感情的の理解を求めんとする要求を持つて居る。でそれらの要求は、孰れも哲學や科學的眞理の探究の形となり、藝術的審美の追求といふ姿となつて現れる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

强ひて言へば是も一種の祈禱といふ事が出來る。否祈禱心存して始めて眞の眞理を發見し、眞の藝術が生み出さるゝのである。要するに祈求哀願の意味に於る祈禱こそ、人間の凡ゆる要求の表白であり、熱望である。汗と涙との結晶であり、衷情の赤裸々な絶叫である。

二、服從（交通乃至合一）

祈求の場合、多くは「給へ」の域を脫しては居らない。人間の我がまゝ、即ち人の心のまゝを神に强ゐる强制の境を離れては居ないのである。仍で「斯々なし給へ」といふ祈求本意の祈禱は更に一歩を進めて「聖旨に任せ奉る」との祈禱に到らねばならない。蓋し此の「任せ奉る」との祈禱は、信頼服從の意味を表すもので、換言すれば、信仰による神の意志への合一乃至歸順である。祈禱の極致は服從たり合一たり、交通たらねばならない。即ち我らの思想も願望も決斷も凡てを神に信任せしむる意味での服從である。强迫されるのでなく、樂しんで一切を神に投げやうとする意味の合一また歸順である。キリストが月白き夜の園で「聖旨に任せ奉る」と叫ばれた時の如き、最早焦燥なく恐怖なく、怨言なく、おど〳〵した叫びは更にない。言葉もない。只無言の信從、沈默の悅服、未だ得ざる所に只信從する事、それ自身より生じ來る深い滿悅あるのみである。たま〳〵是に相似た感激乃至陶醉の極生ずる情感的合一、或は神秘的融合の事實がないではないけれどもキリストの「任せ奉る」の祈禱に現れた全人格的の信從は、全然その類ではなく、誠に「血の汗」と淚とによる全靈と全靈との結合、全心と全心との交換大我と小我との全一的合一、驚く可き行爲の祈禱だつたのである。

三、懺悔（告白）

洵に祈禱の最高なものは服從・合一、交通であるとは言へ、さうした神人合一の境地は、恒には持續され難いものである。知らぬ間に服從は脊反となり合一は分離となり、交通すらも途絕され易い。昨日

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「神、我にあり、我又彼にあり」と思つた我が、今日は既に彼我所を異にすること決して稀ではないのである。「神なき所が地獄」或は「地獄は完全な善よりの分離」といふ言辭はいづれも神人の合一が破れ交通が止み、服從の行はれない神人間の不調和を意味するものなのである。人はこの心靈の一大故障を發見した時、その心裡に内的矛盾、心靈の汚穢、自我の賤小、努力精進の微弱を痛感して堪へ難い苦惱に襲はれるであらう。然しこの時自己に就て苦しむ心が、自暴自棄に陷らぬ限りはかの放蕩兒と同じく「天と汝の前に罪を犯して子の資格のない者を下僕の一人に加へて下さい」との謙虚な悔恨懺悔の告白となり祈禱となつて迸り出るのである。會堂の一隅に立ち我胸を撲つて天をも仰ぎ得ずに「この罪人を赦して下さい」と叫ぶ所の懺悔あり告白があつて始めて「恩惠の赦」が與へられるのである。この祈禱があつてこそ、神人の合一が再び成り、服從の美が保たれ、天と地との交通が恢復せられる、これあつてこそ「三度主を拒んだペテロ」すら猶救はれ、是なくして終つたユダは遂に永劫の死を免れ得なかつたのである。

四、感謝（法悅）

最も深い强烈な哀求が應へられた場合、よし是なくとも神に對する信頼服從に依て神人の合一が實現した場合、或は失はれた神人の交通が「碎けた心」の懺悔に依て再び恢復さるゝ場合、さうした時、人は無上の歡喜、法悅の情感に燃える者である。そして此所謂「ありがたい」心持が表れて感謝の態度となる所の物が滿悅法喜の祈禱なのである。祈求、懺悔、服從を中心とする祈禱のいたく悲調を帶ぶに反してこはそも如何許り光輝ある快調な祈禱である事よ。誠に祈求を徹底せしめよ。さらば與へられるであらう。服從による神人の合一を熱求せよ。さらば答へられるであらう。眞摯なる懺悔を捧げよ。然る時必すや赦さるゝであらう。而して與へられ、答へられ、赦さるゝに及んで、我衷に充つるものは滿足

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

である。感激である、平安である、感謝である。祈求懺悔、服從の祈禱を徹底せしむる所、是即ち感謝の祈禱の始まる第一歩である。げに祈禱はあらゆる要求から湧き上る哀求である。合一交通に對する血と涙との異常な努力である。罪の赦しに對して擧げられた「碎けたる心」の眞摯な叫びである。衷より迸り出づる法喜の泉、感謝の涙である。即ち祈禱は「求め」である、「交り」である、「悔ゐ」である、「喜び」である。

是を要するに、祈禱は人の理性を導き、感情を淨め、意志を强める力である、全我を高め淸め强める力である。人をして不朽の「神の子」とならしめる恩惠の力である。「神我にありて生き、我神にあつて生くる」根底の力である。如實に「神の姿に甦り行く」神秘な力である。「神の如く全く生きん」とする力である。祈禱の力は神に結合する力である。祈禱の深さは神と交る深さである。祈禱の高さは、神聖なる神前に惹き上げられた高さである。

萬國學生祈禱日

時　大正十年二月二十七日(日)午後二時

所　神田美土代町青年會館

一、讃　美　歌
一、聖書朗讀
一、祈　　禱
一、開會の辭
一、讃　美　歌
一、奬　　勵（學生靑年會代表者）
一、獨　　唱
一、講　　演　河井道子
一、會衆の祈禱
一、讃　美　歌
一、祝　　禱

以　上

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

或女學生の手紙

――海外にある友に――

水野清子

御出發後足掛三年になる今日迄に、手紙らしいものを書くのは之が最初であることを自ら恥ぢて居ります。いろ〳〵の御研究にお忙しい貴姉からのお便りを待つ迄もなく此方からこそもつと忠實に故國の模樣をおしらせすべきであつたのです。

御無沙汰して居る間に世の中はどん〳〵變つて行きます。之こそ是非御耳に入れなければと奇異の眼を見張つたことも、少しぐず〳〵して居る間にもう古いことになつて終ひます。

化が進歩を意味するものならば、今日の日本程素晴らしい進歩を爲して居る國は他に多くはないやうな氣がします。けれど社會の大勢を批判する等といふことは私の力の及ぶ所ではありません。その樣なむつかしい問題を抜きにしても、私共にとつて今日程激しい動搖の時代はなく、男も女も落着く所を知り得ない有樣です。岩の上に建てられた城は何所かと民衆は手を伸べ、聲をからして探し求めて居ます。其詮索は眞劍です。殊に若い者は――女性も一個の人として――眞面目に自己と自己の周圍とを凝視め、眞實なるもの正義なるものを自分の中に又社會の中に求むる願が切になりまさりました。

永い間「女」といふ鑄型の中に――もつと具體的に云へば良妻賢母主義といふ――はめ込まれて、宿命的なわなにかゝつて居た女性が、彼等にも人として生きて行く道のあることをさとり初めたのです。そしてそれは他から與へられ、そなへられた道では

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なしに、女自らの力によつて發見し開拓して進むべき道であることも追々はつきり考へて來るやうになりました。

「人生の眞の目的は？　人としての最善の生き方は？」といふやうな質問は、私共の間で少しも突飛でも亦生意氣でもない眞劍な問題として取扱はれて居ます。若い女の學生達が考へることは、も早やお嫁に行くことや、新しい家庭生活の夢許りではなくなりました。もとより私共の眼中に結婚問題などはてんでないといふのではありません。けれどそれより先に決せられなければならない問題は、果して自分が幾分でも眞の人らしい人となつて居るかどうかといふことで、一時柔順と見える妥協的な行爲は、終生の不幸、人格の破滅のもとであり、自己を僞るといふことは終には大きな破綻を來す原因となる社會的罪惡であるといふやうな事がわかつて來たのです本當に自分をも人をもごまかさない正直な態度を、何事に對してもとりたい、人生の意義をよく／＼かみしめて最善に生きて行きたい。斯ういふ願望が、何も知らずに――自分自身の事も他人の事も――飛び込んで行く結婚生活に對して思ひを逡ざけるやうになつて來て居ります。それ故此問題を考へないのではなくて、人生の最大事の一つとして眞面目に之に向ふやうになつたと申ても差支へないかもしれません。

之は勿論一方の傾向を申して居るので、〇〇〇〇といふ私の學校の中にあらはれて居る傾を中心とした考へ方かもしれませんし、又若かすると私一人の事になつて終ふかも知れませんが、斯樣な覺醒は必ずしも所謂高等敎育を受ける特權を與へられたものに限らず、意識的にか無意識的にか、とにかく普通敎育(高等女學校)をうけた一般の女性の間に目醒めつゝある現象であると思ひます。人は敎育によつてよりも、より多く時代によつて造られるものでありますから。

ながい永い間心の奥底に埋め込まれて、其存在さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

へも忘られて居た種が、そろ〳〵芽ぐむ時が到來したやうな氣がします。果して自分は此まゝでいゝのだらうか。と自己の魂を眞劍にヂット見返つた者は、其所に今迄氣づかなかつた不純なものゝあることを知つて失望と驚きとに打たれます。之が本當の人間の姿である筈はない。此まゝで一生を終つては大變だ、どうしたらいゝだらう？と苦しみ初めますそれから今度は自分の周圍を見廻します。其正しくない有様に目がさめて來るのです。けれど、も一度自分を省みる時、傷だらけ汚點だらけな憶病者、僞善者の姿だけしか見えません。

腐敗れた靈魂から出る仕事！　それはどのやうに立派そうに偉そうに見えても、眞正の生命が其中にある筈はありません。自分を見れば見る程、そして周圍を見れば見る程、靈魂の改造、眞人の創造をと願ひ求むるやうになつて來るのは止むを得ません。

×　×　×　×　×

私はいつしか敎會の門をくゞるやうになりました一月、二月と禮拜出席をつゞけたのです。そしてたうたう半歳程、もう其頃は一つの習慣性に捕はれて日曜日の朝になれば出かけたものです。讃美歌と聖書とを包んだ風呂敷包みを抱へて。

當初から敎會は私の豫期に全く反して居ました。それに驚きと失望とを感じながらも、尙自分が此所でこそと目當てをつけて來た所で、何か得られない筈はないと無益な忍耐は私の墮性に幾分の勇氣を加へて足を敎會に向はしめたのです。然し失望と反感とは唯增して行くのみでした。

それは御承知の××敎會です。立派な建物、美しい植木鉢、華やかな花卉、集つて居る婦人達の多くは世の中の所謂上流婦人――と私のひがめにはうつりました――彼等の間に取り交はされる禮拜後の慇懃な挨拶振り、大變に丁寧な言葉。私は敎會內の禮法なるものが一定されて居るのかとさへ思つた程です。けれど之等のことは第三義第四義　禮拜の氣分とはしつくり會はないにしても、私には左程の妨と

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はなりませんでした。求むる心は等らに講壇に向つたのです。牧師先生が壇に立たれる瞬間から私の心の眼と耳とは全く一心に開いて居ました。

さて先生のお說敎は、明晰な頭腦から出る神學の議論ではありませんでした。勿論私は敎理を聞かうとしては居りません。それは本を讀めば大概はわかることであらうと、自惚かも知れませんが考へて居ます。では先生のお話は深い魂から出て來る御自身の靈的經驗、衷心の叫び、救の實驗かといふに、そうでもないやうです。丁度頭と心との中間から出る何かつかまへ所のないものゝやうな氣がしました。

聽衆の數をふやすといふ敎會に對する忠義心から私は禮拜に出席して居たのではありません。魂の求め、魂の渴きを充して戴き度い願ひが一ぱいでした之は或は利己的な要求であつたかもしれません。けれど其塲合の私には自己の魂の改造程緊急なそして一義的の問題はありませんでした。それ故私は暫らくして全く其敎會から遠ざかつて終つたのです。

或日曜の朝、大變お天氣がよく、風もない暖い日でしたので、郊外の森にでも心の禮拜所を見出さうと、早く寄宿舍を出かけました。と、山の手の丘の上に小い會堂の建物を見つけたのです。見すぼらしい建物でした。入口の床には竹皮草履が五六足無雜作に並べられてあります。中に入ると會衆は四十人に充たない程です。講壇の側に中古のオルガンが一つ、左側に小いストーブがあつてしづかに火が燃えて居ます。堂內の附屬品は之と講壇の上の臺と時計とだけ、目を惹くものは一つもありません。講壇に立たれた先生は恐ろしく瘠せた、血色の餘りよくない、然し何所か崇高さを感じさせる中年の方でした。

「神樣、私は自分の心の中に止めがたい渴きをおぼえて居ます。今日は計らずこんな敎會に來ました。全く偶然通りかゝつたのですが、何か不思議な力が私を引いて居るやうに感じます。或は此所で私が求め求めて居たものを見出すのではないかといふやう

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

な氣さへします。神樣、今日はどうか私を失望させないで下さい」。

隣の席に腰を下すと私は冥目してこのやうな祈願を心の中に込めて居ました。

それはもう數週間前の事です。私は其時何をきいたかすつかり憶へてゐません。お話の題さへ忘れて終ひました。けれど其時程「十字架」といふ言葉を力強くきかされた事はありません。今迄キリスト教の記號と思つて居た此事は、實はその教の眞髓であり生命であつたことを其時初めてさとることが出來たのです。勿論神學的の理屈がわかつたのではありません。其事實が私の心底に強く深く響いたのです。其後私はたへずキリストの十字架といふ事を考へて居ます。否考へずには居られなくなつて居ます。之が全ての問題を解決する鍵であると思ひます。

其後今日迄、割合に遠い其小い教會に行く事を私は一週間中の樂しみとして居ます。いつ迄いつても失望はさせられないやうな豫感がします。

× × × × × × ×

故國の樣子を申上るつもりの此手紙が、とんだ所に脱線して、私一人の近況を、それも唯一部だけ御知らせしたに過ぎなくなつて終ひました。けれど之は私にとつてはかなり大きな喜びですし、貴姉も喜んで下さると思ひます。此經驗は常々貴姉が、日本のキリスト教會に對して有つていらしつた御考を裏書するやうな事實ではございませんか。いつも信仰は十字架が土臺でなければ駄目と仰有つていらつしやいました貴姉のお言葉を思ひ出します。

どうか十字架の贖、それによる赦と救といふやうなことが、私の魂の實驗となり、人生の目的も、眞の生命も皆此處から出る事を、本當にさとり得ますやう、お祈り下さい。まだ自分ながらはつとする程危險な瞬間のある事を感じます。私は本物のクリスチャンこそ眞の人であると信ずるやうになりました。そしてそうなりたいと願つて居るのでございます。次ぎの便りをお待ち下さいませ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

讀書紹介

—ルイズ—

山本つち子

世に知られ人にも譽められるやうなことを云つたり、爲たり、考へたりした人は家が極貧であつたり、肉體に醫えざる刺を抱いて居たり、又精神的に非常な痛みを蒙つたりした者の中に多いものでありますが、何の變化つたこともなく平凡な家庭に、平凡な頭腦を與へられ至つて事ない年月の流れる中に生ひ立つた心は、何の反響もうけず又與へずして終り又それを至當なことだと觀念して仕舞ふものであります。

ルイズは、平凡な家庭に溫かい父母の愛の中に生長し異彩を表はす様な出來事にも出會はない中に二十年の短い生涯を終つた若い心の持ち主であります、然しルイズの通つた二十年の歩みは決して無意味なものでありませんでした。其短い然し美しい清い生命は今も活きて、神様を知る事は最大なる寶であり、人を愛することは深い喜悅の泉みであり、與ふる生涯は限りなく生くる道である、と耳語いて居ります。

何事もなかつた彼の一生の記事は、其を讀む同じ境遇を經て居る若い心に、其の一生を如何に有意義に用ひ如何にして深い生活にがられ、如何にして廣い愛の中に生きられるかを敎へてくれます。

うたつた詩の中に誰かの心を慰めるのもありませう、同じ傷の痛みに泣いて醫されるのもありませう。

お讀みになつてルイズのよいお友達になつて、其の友情をあなたの誇の一つとして下さいませ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

讀者皆樣へ

竹内よし江

皆様、私はいつでも一人でも多くの方を憶えたいと、どんなにか願つて居るのでございますけれど、此女子青年界を愛讀していらつしやる皆さんを委くは知つて居りません。けれど同じ學校に居て一緒に勉强してゐます多くの友よりも、神様のみ名によつて結ばれてゐます皆様を思ひます時に、何とも云ひ得ない懐かしさを感じます。今私は皆様を思ひながらなつかしみながら、私が皆さんにお勸めしたい一册の本について申上させて戴きます。

皆様はこれまでに「ルイズ」といふ弘中(山本)つち子先生の飜譯なさいました本をお讀みになつた事がございますか。ルイズとはアメリカに生れた美しい淸らかな一生を地上に終へた一少女の名なのです。此ルイズの與へられた一生は短いものでした。然しその尊い信仰生活は天國の記錄にも地の上にも殘されて今も尙私までも知ることが出來ました。私はあの淸いたふとい、私がこつそりと覗ひ見る事も恐しい位なルイズの信仰から受けましたインスピレーションを、どうして發表していゝのか言葉を知りません、唯私が此の本を讀んで本當に淸い愛に充たされ、より一層エス様に近い信仰にまで高められました事を申し上げることが出來るだけでございます。「己を愛する如く隣人を愛せよ」此おきてを私達は守ることを敎へられながら多くの場合そむいて終つて居ます。

「偽りを云ふこと勿れ」とのみ言葉をきゝながら、本當に一つも偽りを言つてゐないでせうか。ルイズは神様のおきてをほんとうによく守りました。そしてそれを實行するのに强い〱勇氣があつたのでした。私は靜かに此本を讀み終へた時、一人あの大空を仰ぎながら、魂のずつとずつと奥の方から熱い悔ひ改めの涙を流してゐました。私自身があまりに神様のいゝ子供でないことを明かに知つて。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聖書は勿論、その他私達の信仰をたすけるために澤山の本を神様が私達の先輩を通して與へ給ひました。皆さんその一冊である此ルイズをおよみ下い。彼女の信仰に私達の倣ふ事を神様はきつと望んでいらつしやいます。私たちは神様に恵まれて愛せられて又護られて本當に幸福でたのしいのでございますが、此本を讀むとそれが尚つよく明かになると思ひます。

（一九二一、一、一九）

一少女の感化力

野中よし子

明年のクリスマスに私は一友から小さい一冊の本を贈られました。それは余り私の注意を惹かなかつたので、讀みもせずそのまゝ打ちやられてありましたが、新年になつてまた同じ書物を他の友人から贈られたのです。で之は何か讀む價値のある本であらうと、始めて讀む氣になつて開いたのが「ルイズ」でした。

其本の中に彼女の友人は「ルイズを知る事は彼女に感化されることだ」と申て居ります。此言葉通の通りに私も其本を通して彼女を知る事により、立派な先生や學者のお話から受けるよりも、ずつとずつと大きな賜を與へられる事が出來たのです。

マルタのやうに實際的で活動的な性質と、マリアのやうに神秘的な靜かさとが心持よく調和されたのがルイズの性格であつたやうに思はれます。「諧謔家と聖人とを一緒に合せた様な愛らしいルイズ」と其本には書てあります。話し上手の快活なルイズは澤山の人を自分に惹きつける力を有つて居ました。然し友達の心に深く殘つて、いつ迄もいつ迄も美しい記憶を失はせなかつたのは、靜かな祈深い、ルイズのマリア的半面であつたやうです。

「ルイズが生前私になしてくれた最大な事業は私を導いて祈りに對する眞の信仰、祈より得る力を敎へてくれた事である」と彼女の一友は云つて居ます清い力に充ちた彼女の人格の背景には「清くない

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

物は、何事でも捨てる勇氣を與へて下さい。私のなす事、云ふ事全て神の全き崇高さを寫すやうにさせて下さい」といふやうな純眞な祈りのあつたことを、私は忘れる事が出來ません。彼女がいつも心に止めて居たらしく思はれる、祈禱についての條件は、左の五ヶ條であつたのです。

一、基督が祈禱に答へて求むる物を與へ得ると信ずる事。（マタイ傳十七ノ二十）

二、他の人に對して何の恨もない事（マタイ傳三ノ二五）

三、神の國の言葉を知る事

四、王の皇子の名によつて願ふべき事（ヨハネ傳十四ノ十四）

五、先づ第一に王の仕事をなす事――先づ神の國と其義とを求めよ云々――（マタイ傳六ノ三三）

友人に送つた手紙の一節に

「毎日の生活の第一は祈です。長い飾つた祈でなくキリスト共に在すを讃するやうな祈です」

と云うて居るのを見ても、彼女が如何に祈禱を第一事としたか、そして其祈禱は、人の前や、人に聽かれる爲でなく、眞にキリストの前に如何に單純に正直になされたかを察する事が出來ます、彼女の全人格を生かす鮮な色彩の祈禱の背景を思ふ時、短い生涯に遺された偉大な感化力の源泉を堀りあてたやうに感ぜずには居られません。

ルイズの信仰の記錄とも云ひ得る此小い本を讀み終へて、しづかに卷をふせた時、私は無駄の多かつた、否無駄ばかりと云つた方がよい自分の慘めな二十年を思はないわけにはいきませんでした。

ルイズの二十年と、私のそれだけ! 何といふ相違でせう!?「明日からは心も體も全てを御心に從つて生かして行く事の出來ますやう。御力を御添え下さい。たとへ私の過去や、私の生れつきがどうでございましても、神樣あなたのお力によつて。」

ルイズの譯者山本つち子先生、並に讀者諸姉の感想を戴く事が出來まして大變幸ひでございました。例により此書をお求めになりたき方々の爲本部で御取次をいたします。御遠慮なく御申越下さい。

定價七十錢

志道者の爲に

汝なほ一つを缺く

ルース・レーガン

今日どの國でも同じ悲しい事が起つて來ました。社會問題は大低どこでも同じ事で、勞動問題、婦人問題等皆世界の問題になつて居ます。國際聯盟は如何なりませうか。此國は向ふの國に對つて信用がなく、向ふの國は此國に對して信を置きません。國と國との間に常に疑がありますか。私共の間にも何をしても滿足がありません。學校では先生の敎へ方が惡いし、家では親は私共の心がわかりませんで、古い思想に捕はれて、頑固で嚴しく云ひますし、不滿足な事ばかりです。國でも人でも自分は正しくて、向ふは信じられないといふ風です。然し若し或國が唯自分だけが正しくて、他國は正しくないと考へ、他の國も同じ考へになつて、其國に習ひますならば、世界は如何なりませうか。此世の中のすべての問題は、それで解決がつくものでせうか。

或時、自分の正しい事を誇つて居る一人の人が、イエスの所に來て、私は子供の時からすべての誡を守つて居ると申ました時に、イエスは「汝なほ一つを缺く、來り我に從へ」と仰有いました。私は今の世界の有樣を考へて、丁度イエスが、正しい事を誇つて居る此人に仰有つた樣に、一つを欠いて居ると思ひます。そして其欠けた點は何であるかといへばそれもやはりキリストの仰せられた通り「我に從へ」即ちキリストに從ふことが欠けて居るのであると思ひます。

或時ヨハネの弟子が道端に立つて居ると、イエスがお通りになりました。ヨハネが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「御覧なさい、あのお方は私の今迄話した神の羔です」と云ひますと、其二人の弟子達はすぐにイエスを追ひかけて行きました。何故追ひかけて行きましたか。其深い理由は二人の弟子自身もよくわからなかつたでせう。イエスは振返つて二人を御覧になりました。そして「何の御用ですか」とおきゝになりました。すると二人は「先生、お住居は何所ですか」と問ひ返したのですイエスは二人の本當の心がよくおわかりになりましたから、親切に「一緒に御出なさい」と仰有いました。それで二人はイエスに從いて往つて、其日いろいろの事をきゝました。

それから歸る時に其中の一人は自分の兄を尋ねにいつて、其兄に會ふと「今日、今迄望んで居たメシア、私共の貧く淋しい生活の救主に御目にかゝりました。貴下もいらして御覧なさい、本當に嬉しい事です」と敎へました。其後三年の間此兄弟はイエスに從つて敎訓をきいたり、なさる事を見たりして、イエスの御心が漸次わかるやうになりました。

も一つ他の話を申し度いと思ひます。イエスが十字架の上でお亡くなりになりまして墓に葬られてから三日目に、弟子達が或女からイエスの復活をきくと、大騒になりました。その樣な不思議な事は眞實かといろ〳〵の議論をして居ました。其三日目の晩に二人の弟子が家に歸りながら、愛するイエスに就ての此不思議な事を互に論じて居ましたが、丁度其時にイエスが現れて一緒にお歩きになりました。二人はイエスである事に氣がつきませんでしたからイエスと其日の出來事をいろ〳〵語り合ひますと、イエスは聖書の始めから終迄の中から御自分に關係のある事について、はつきり説明なさいました。

家に着いた時、二人はイエスに宿るやうに云ひました。そして三人で一緒に夕餉の席につきますと、イエスはパンを手に取つて神樣に感謝なさいましたが、其時ふいに弟子達にそれはイエスであるといふ事がわかつたのです。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今申上ました此二つの話を聯想して感じました事は、私共の生活とイエスとの間には關係があるといふ事です。私共は皆イエスはどんな方であるか知り度いと思ひます。けれども如何して知ることが出來ませうか。如何して從ふことが出來ませうか。如何いふ風にしたら友達になれませうかと考へます。斯樣な考へは今の多くの人々、殊に青年の方々が抱いて居る疑問であると思ひます。

此疑問に對しての答の一つは「來りて見よ」「我にならへ」といふ言です。イエスに從ふといふのはイエスの御生涯を研究したり、イエスの教訓をならつたり、爲し給ふた事を見たり考へたりしてイエスの御生活がわかるやうになることとです。も一つは自分の方からイエスに向つて私の心の中にお宿り下さいといふ事であると思ひます。

或有名な畫家のかいた繪に斯ういふのがあります小い穢い敗屋の側に、入口の前には長い草や美しくない雜草が生へて人が入れない程生長して居ましたがイエスが外に立つて戸を叩いて居らつしやる所です。そして其下に聖書の句が書いてあります。それは「見よ我、戸の外に立て叩く、若し我聲を聽きて戸を開くものあらば、我其人のもとに至らん。而して我は其人と共に、其人は我と共に食せん」といふ約翰默示錄三章二十節の言葉です。

其繪は、人の心は穢い、つまらない、おもしろくないもので、我儘や、頑固や、恐怖、うらやみ嫉妬といふ雜草が生長して居る敗屋ですが、其外にイエスは立つて戸を叩いていらしやるといふ事を意味して居ると思ひます。若し私共が心の戸を開いて、「お入り下さい」といつてイエスを自分の中に止めますならば、前に申上げた二人の弟子達のやうに漸次目が醒めてイエスがわかるやうになり、同時に自分の正しくない心がわかつて來ます。

イエスは我儘でせうか。人をうらやみ、妬む心がありませうか。何でも自分の好きなやうにしなければならないといふ勝手な心の方でせうか。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私共がイエスを心の中に宿す時に、イエスの御心がわかる許りでなく、自分の心もよく解るやうになり、イエスを愛すれば愛する程自分の惡い所をなほさなければならないやうになります。

も一つ感じたことを申上ます。初めの話では一人の弟子が自分の兄弟を一生懸命に探しに往つて喜んでイエスの事を敎へた事が書いてありました。そして次のには二人の弟子達がイエスがわかるとすぐにエルサレムに急いで歸つて、皆と一緒に喜んだ事が語られてあります。私共もイエスがわかつて來ると家の人や友達と一緒にイエスを愛し、イエスの心と一つになり、自分の缺點を正して本當に義しい人になる事が出來るのです。

國といふものは個人が集つて出來たものです。然し其個人は一體どういふ人でせうか。我がまゝ勝手な人ですか、それともイエスの御心と一つになつて居る人でせうか。私共の國は私共の影のやうなものであるに相違ありません。それ故世界中で一番大切な事はやはりイエスの御言葉であると思ひます。即「來りて我に從へ」、「心の戸を開きて我をとゞめよ」といふ事であります。

◎質問欄を「四月號から設けます」

主として信仰上の疑問、聖句の解釋等の御質問に應じ度き希望ですから、御遠慮なく御投書下さい。但、住所、姓名明記の事、（表書には必。本文には御都合により匿名でも差支へありません）。毎月十日迄に到着の問に對しては、翌月の誌上で解答を發表いたします。投書は女子青年界編輯部宛に願ます。

編　者

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本の若き姉妹方に

紐育　中西娟娜子

もう二週間でクリスマスといふ十二月半になりました。神田の街や女子青年會のオフィスや、そこでお知り合ひになりました方々、自分の家、家族、友達等、いつも頭をはなれませんので、半年も日本の地を去つて居るなど、とても信じられません。

此所の幹事養成學校の設備の整つて居ることを感謝して居りますが、特にうれしいのは生徒の室が一人一室で、而も西洋造りですから戸を閉めきれば泣かうと笑ふと歌ふと考へ様と、誰に何の氣がねもないことでございます。生徒達の力は教室や禮拜堂ばかりでなくこの Private の部屋で得られるのであらうと思ひます。丁度嬰兒が寢る間に育つ様に。此室で考へました事を一二書かせて戴きませう。

それは大した發見でも、神秘な宗教的經驗でもなく、誰でも知つて居る事でございますが、物を知るといふのと、それを經驗するといふのとは二つの異つた事でございます。飲酒を惡いと知つても禁酒しない人は知識だけで、經驗のない人と云ふ事が出來ると思ひます。此意味におきまして私の申上ます事柄もつまらぬことながら、私自身の經驗であるといふ理由だけでお知らせすることを許して戴き度く存じます。

有意識の善、無意識の善

外國に參りますと、經驗も教育も習慣も異つた人々の集合でございますから、お互に余程許す、信ずるといふ心が必要です。(之は決して外國のみではありませんけれど)又一方之が爲非常な努力が必要となつて來ます。他人にちつともわからない努力をしなければならないことが澤山ございます。例へば始めは食堂の會話が非常に苦になつたものです。聞くのも疲れゝば、一言話すのは重荷に感ぜられました。け

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れども米國人は話し過ぎると先生に幾度も注意を受ける程、樂以上に何の努力もなく面白く會話する事が出事るのです。私の一言話す努力は恐らく誰も知るまいと存じます。多分人々は「あの人は話をしない變つた人だ」位に思つて居ることでせう。私は皆勝手なつまらない事をしやべつて居る、と批評的な態度を取り勝ちになります。結局私の努力は他人を喜ばし得ず、自分には不滿足をもたらすばかりでございます。凡て生半可の努力は、かうした者でせう。徹底的にしなければ何にもなりません。自分の僅許りの努力をいつも鼻にかけ、善を行つてそれを恩に着せる樣な態度、之は誠に子供らしい努力ではございませんか。

一體善をするといふ事は少しもゑらいことではなく、それは當然な事でございます。私共幼い時から親孝行の話や親切な行爲を何か特別のことでゝもあるかの樣に聞かされて居ましたので、そうするのはゑらい事、しないのは當りまへの人間といふやうな考へが頭に沁み込んで居ります。然しそれは大間違ひでございます。

私共にとりまして、或善事は易く出來るが、他の種類の善は非常な努力を要する。かういふ經驗は誰にでもあると思ひます。努力なしに出來ない善は、努力しないでも出來るやうにしなくてはなりません凡ての善事を、努力なく自分で特別に善行をしたといふ意識もなく、丁度呼吸をするやうに自然に出來るやうになつた時、はじめて私共は普通になつたのではございませんでせうか。

自分の眞價以上に見せ度い

日本人は忍耐力の強い國民でございます。殊に先祖代々不利の地位に耐へて行かなければならない日本の女性は非常な我慢力を有つて居ります。此美點の後には瘦我慢といふ偉そうに見えて、その實下らない努力もある樣に見えます。自分の弱點を他人に見せない——それは非常な困難と努力とのいる事でございます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「外國に居て淋しくなることはありませんか」と聞かれた時、私は何氣なく「いゝえ、皆さんが親切にして下さいますし、自分の仕事にも興味がありますので、少しも淋しくはありません」と答へて終ひました。その後で私は何といふ痩我慢な傲慢な自分であつたかと恥しくなりました。此返事を分解して見ますと、其中に「自分の價値以上に見せたい」と云ふいやしい分子が入つて居りました。本當は淋くなることがあるのに、「そんな意久地なしではありませんよ」と云つた樣に思はれました。

他人の評判を氣にする

日本は外國の評判によつて支配されることが多いと、きいたことがあります。國全體としてさうであるばかりでなく、個人としても同じ傾向がありはしないでせうか。あの人がさういつたから私は斯うしませう。かう云ふと誤解され易いから止めませう。まるで他人の爲に生きて居るやうな氣がいたします外國人は此點は大變單純で、一時は誤解されても、馬鹿と思はれても、時には人の感情を害することがありましても、その樣な不利益は小事で、もつと〳〵大切な大きい物を目あてとして結果を考へるのでございます。此樣な習慣は

一、くさ〳〵遠まはしに氣を廻したりしませんので余計に頭を惱ます事をせずにすみます。（之は活力の源泉です）

二、單純な無邪氣な性質を得ること。（之は大人格になくてならぬ要素です）

三、他人の爲、僞つた生活をなすのでなく、自己に正直であり得ること。（之は人間生活の基礎です）

手を入れて書き直す時が今はございませんので、思ひ浮んだまゝを書きつらねました。まとまつて居りませんけれど、忙はしい生活の中にもかうして書いたり、考へたりする事もあるといふことを知つて戴く爲に投函いたします。

中西先生の御住所は Y. W. C. A. Training School.
135 East 52nd St. New York City.

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

萬國學生祈禱日趣意書

萬國基督教學生青年會同盟は廿五年前、ヴァデステナの古城に於て捧げた祈禱の中に胚胎したものである。其著しき發達の原因を考ふる時は、祈禱が最も力あるものであつた事を示して居る。故に本同盟の役員は玆に本年も亦大なる確信と期待とを以て、祈禱の力を信ずる學生諸氏に此趣意書を送るものである。先づ第一に此「祈禱の奬勵」は本同盟に加入して居る二十萬以上の學生と教授との渴望、希求を表して居る事を記憶すべきである。何となれば彼等の背後には、各國各民族の無數の男女學生が牧者なき羊の群をなして居るのである。故に來るべき世界に及す此等の學生の感化に想到るものは何人と雖も跪づいて祈らざるを得ない。而して其祈禱には今日迄、青年會が受けたる驚くべき成果に對する感謝の念を伴はねばならない。

大膽なる信仰的冒險によつて生れた萬國基督教學生青年會は世間から余り期待も注目もされなかつたし會員の數や資金も極めて微々たるものであつた。然しそれは神の計畫の上に築かれたものであつたがら、遂には多くの人々の信仰の堡となり神の大なる測り知られぬ力の證となつたのである。

世界大戰中我等は「新時代」と云ふ言葉を多くきいた。然し力によつても、決議によつても世界の改造は出來るものでない。唯十字架の道を辿るにある事を今更の如く感ずるのである。明かに我等は人類歷史に於ける廻轉期に立つて居る。然しそれが進步

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を意味するか退歩を意味するかは一に將來の國民の指導者卽ち學生の力に俟たねばならぬ。ユーゴーは「兵力に優る者唯一つあり、時を得たる理想卽ちこれ」と云ふて居る。今迄多くの理想が全く無駄である事が證明されたとて「神の王國」なる力ある而も總ての原動力なる理想の實現を疑ひ得やうか。學窓に於て、はた波瀾高き實社會に於て、神のみが嵐を靜める力を有ち給ふのである。

實に祈禱は藁をつかむのでなくして我等の小さき意志を神の永久の意志に結合せしむる鎖である。

玆に此趣意書を送り、我等は諸氏と共に一九二一年二月廿七日を萬國學生祈禱日として遵守せんことを切望する次第である。

萬國基督敎學生青年會同盟

委員長　ジョン・アール・モット
副委員長　王　正　延
同　河　井　道　子
常務委員　ルース・ラウス

祈禱事項（特に我國の爲めに）

一、諸學校にある朝鮮、臺灣の學生並に中華民國、印度、比律賓其他の留學生に我學生が、基督にありて一つとなり親しき關係を結ぶに至らんため。

二、新設諸學校に靑年會の速かに創設せられん爲。

三、最近起りつゝある靑年祈禱團の有意義なる發達の爲、及び斯る祈禱團の盛に起り來らん爲。

四、基督の精神を體して新時代の指導者たらんとする人物が我等の團體より多く起り來らん爲。

五、夏期修養會の發展と充實との爲。

日本基督敎靑年會同盟委員長　井　深　梶　之　助
同　主事　齋　藤　惣　一
日本基督敎女子靑年會同盟委員長　井　深　花　子
同　總幹事　河　井　道　子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□問題の加州から一筆

河井道子

謹賀新年

今日は一月七日です。桑港につきましたのは十二月廿八日の朝でした。それからと云ふものは實に多忙で、夜は十二時前に床についた事はない程です。實は加州問題の眞相、兩國人の感情の眞底を幾分でも知りたいと思つて、朝より夕、夕より夜に至る迄訪問やら會議やら、毎夜クタ／＼に疲れて床につくのです。十二月三十日にはサクラメントに出かけ、親日排日兩派の人々を尋ねて意見をきゝ、三十一日の夜半に桑港に歸り元日早々百三十哩の所にあるリヴ　ングストンと申す植民地に自動車で運ばれ、新年第一の聖日の禮拜を其所の村落教會でいたしました。此地には二百名内外の日本人が相寄つて一村をなし、其七割强が信者で牧師も立派に招聘され牧師館もあり、日曜毎に會堂に充つる程人が集ります。日本人クリスチャンの村として有名なそして又有望な所でございます。從つて其土地にある米人などは好意を以て日本人に對しますから個人として誰も排日を稱へる人はありません。然し今度の加州日本問題は實に眞劍に研究し眞面目に親善の道を講ぜねばならぬ重大な問題です。

其が爲に米青年會本部から二人の幹事が加州に亘り好意と眞心と熱心とを以て此むづかしい問題を信者婦人の立場から研究して居られます。日本の姉妹方もどうか此問題を對岸の火事視せずして、斯る問題の起因を考へ親善の道を講じて貰ひ度いと思ひます。

私共は一月八日のペルシヤ丸で歸朝の筈でしたが此問題についての在米同胞の意見も十分に知る事なしに歸朝しては相すまぬ事故、汽船會社に破約を重々詫びて一船延しました。一月二十四日に桑港を出帆するコレア丸に乘船の豫定ですから、二月の九日當りに横濱へつきます。紐育本部幹事のミストモスも多分同船で東洋漫遊の途につかるゝでせう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

――本部便り――

□河井先生のお歸りを樂しみに一同元氣で働いて居ります。一同と申ました所で毎度御報告いたす通り西洋人二人、日本人三人の五人で、至つて靜かな活動振りを見せて居るのでございます。中央委員會の前は、事務幹事のミスレオナ・スコットと堀さんとの殊に忙はしい時です。タイプライターも此時は可哀想な程叩かれます。二十日前後になりますと三階の私が周章て始めます。そして雜誌の原稿をまとめて印刷所に送つて終はない中は容易に落着き得ないのです。それからホット一息ついて校正の出るのを待つ間と、印刷の出來上る迄の間に、雜誌の包み紙を書くことになつて居ます。之は機械的なつまらない事のやうに他からは見えるかもしれませんが、私にとりましては、可成樂しみな仕事の一つなのです。月毎に讀者のお名前がファミリアーになつて來ること、新しい讀者の與へられること、之らは何にも比べがたい喜びです。そして出來る事なら皆樣に御目にかゝりたい氣さへいたします。北海道、臺灣、朝鮮、支那、其他の國々に未見の友を多く有つ幸ひを思ひますと、小い仕事の中に大きな祝福を感ぜずには居られません。

□或方が「本部は怖い」と仰有いました。余り皆がコツ／＼働いて居るからださうです。然しどんなに忙しい時でも御訪ね下さる方々に、心からの歡迎を怠る程忙殺されたくない心懸けで居ります。何卒御實驗を御願ひいたします。錦町の警察を目當に御出下されば、ぢきおわかりになると存じます。

□前金切れの方々には雜誌の間に振替用紙を折込んで置きました。御手數ながら御送金を願ひます。（あさゐ）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

年賀狀一束

○　山田千代子

成敗は神にまかせよ。己が務めつくさまし地の上にすむ日は。

○　野邊地天馬

新年を迎へて

一、敬愛する皆樣の御幸福を祈ります。

一、舊年中の御親切を感謝いたします。

一、本年も御厚情に浴したく思ひます。

一、困苦の中にも喜んで活動したく思ひます

一、正直な生活をしたく思ひます。

○　吉野明子

生氣にみちた年が參りました。謹んで御祝ひ申上げます。今年こそは新生力を以て奮鬪いたしませう。早速今日から新しい本を讀むつもりです。いつまでも〳〵つきないものは人間の力です。愛の泉です。人類に對する愛のためには此身を犧牲にしてもかまひません本當に奮鬪しませう。

○　村岸清彦
同　榮子

本年こそ傳道に全力を盡めやうと思ひますから御加禱を願ひます。

「汝道を宣傳ふべし。時を得るも時を得ざるも勵みて之を務め、凡ての事に愼み、苦難を忍びて傳道者の工夫をなし汝の職をつくせ」

○　木下百合子

一月號記載の新年標語をありがたく拜見いたしました。私は今年の努力を特に左の事共にそゝぎたい決心でございます。

一、毎日聖書を讀むこと。

一、密室の祈禱を怠らぬこと。

一、多辯をつゝしむこと。

○　吉持貞

廻轉の一角に立つて生ある限の足どりを眺め樣としてゐます。かうした期節は恩にあづかつた人、知つてゐる人、知らない人にまで感謝するこゝろになります。

○　中村しづ子

明けましてお目出度うございます。私は今年中、ほんとに愛の實行に己れを忘れたく願つて居ります。御力を御添え下さい。

○　江口郁子

皆樣と御一緒に新しい一年を迎へる事を得まして眞に感謝でございます。同時に何をなさせんとて此一年を神樣が與へ給ふたかを切に祈り求めて止みません。一月號の女子青年界誌にありがたうございます。何かなしに空虚を感じた私の心は五日の夕食の時に充實した御誌を手にして、何の記事も〳〵何卒私の此心を充たしてと祈りながら拜見しました午後十一時過ぎに感謝と共に卷を閉る事を得ました。有難うございました。日月と共に誌の健かな成長を祈つて止みません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

消息

□河井總幹事。一月二十五日桑港出帆のコレア丸に乘船せられたり。

□渡邊百合子氏。同上。

□ミスペーヂ。京都女子青年會幹事として一月中旬同地に赴任せらる。

□ミセスマクレン。社交幹事として內外人の親交を計られし同氏は一時歸米せらるゝ事となりたり。

□ミセスジョルダン。橫濱女子青年會外人寄宿舍々監として來朝せらる。

□勝部愛子氏。一月より本部に執務せらるゝ事となりたり。

□日比忠子氏。一月九日父君を失はる。

□藤きよの氏。昨年中暫らく本部の事務を助け居られし氏は鄕里愛媛にて永眠せられし由

□植村惠子氏。米國に留學中なりし所、十二月十五日紐育にて永眠せらる。

編輯の後に

「祈禱の歷史は宗敎の歷史である」とサバテイエは云つて居ります。個人の信仰生涯についてもやはり同じことがいへるのではないでせうか。祈禱の連續、それは正しく基督者の生活でなければなるまいと思ひます。"Speak, move, work in peac, as if you were in prayer." といふ一聖徒の言葉を思ひ起す每に、がさつき易くいら立ち易くい、自らを省みさせられます。

萬國學生祈禱日といふ世界的の大祈禱日が再び私共に與へられたことは、ゆるみ勝ちな祈心を引しめ、「なくてかなふまじき一事」に思ひを走らせるよい機であると思ひます。

各地方の學生青年會が此日を有益に過されん事を切望いたします。東京に於ては別項記載の通り京濱學生聯合の大祈禱會を開く事になつて居ります。若き者の祈をして、神の御座に達せしめやうではありませんか。

H・A

摘要

△本誌代金は總て前金にて御拂込被下度、前金切れの捺印有之候節は直に御拂込被下度候

△御送金は振替にて拂込まるゝ方便利にて且間違も無之候、但手數料壹錢を御加へ下され度候。

△振替、東京、貳參七貳參番

「女子青年界」定價及廣告料

定價郵稅共

	內地	海外
一部	金十五錢	金拾七錢
一年前金	壹圓五十錢	金壹圓八拾錢

廣告料

一回揭載	
一行	金五拾錢
四分一頁	金五圓
半頁	九圓
全頁	金拾五圓

年極又は回數により割引有

大正十年一月廿八日印刷納本
大正十年二月一日發行

發行所 神田區錦町一丁目十六番地 日本基督敎女子青年會
電話神田三六五二
振替東京二三七二三番

發行兼編輯人 神田區錦町一丁目十六番地 河井道子

印刷人 芝區愛宕町一丁目和泉町七番地 前川吉次郎

印刷所 右同所 三成舍

are all sorts of things that they want to learn and do, and their questions about foreign methods of housekeeping are eager and thoughtful. There are at least three babies who are regular attendants. The January meeting is to be a talk by Mrs. Hani of the Fujin no Tomo.

The Vesper services on Sunday have proved successful and worth-while. At one meeting two young boys happened in, students in a naval school who had been questioning about Christianity, and the talk was one which answered their questions and gave them a desire to know more. That same day three Korean girls on their way to Hawai, attended.

Hibi San's work is approved by the Kencho, so that she is permitted to speak to the girls at the emigration offices, and give them information about the life they are going into, also help in the Christian life. She also goes to the boat on the day of sailing, with tracts and a smile and a talk, and has countless touches upon the lives of these girls. Some of the girls from the Y.W.C.A. of Ferris School help her.

For Christmas the Louise Club gave a beautiful musical entertainment to fourteen members of a blind school, and served them a lunch that at least one fat, rosy-cheeked youngster will never forget.

The Christmas party was almost too crowded to breathe, and we hope before many Christmases pass to have more room.

The typewriting classes are almost more than our typewriters can accommodate, but they are progressing in their work. The Business Girls' Club is steadily growing too.

KOBE

The Christmas Pageant on December 18th assembled 150 performers girls and women of seven different nationalities. 1500 is the estimate of the audiences of the afternoon and evening-performances. Tickets were not sold, but given away, and expenses met by the Association out of a special gift from an American friend of Miss Onomi's. Over three hundred and eight yen was the total of the free will offering of the people, sent through Mr. Tamura of the Chamber of Commerce to the Famine Sufferers of China.

The Pageant was not only the most beautiful, but also the most inspiring and generally spiritual experience of the Association so far. The theme was "Worship of the Infant Saviour resulting in Service to suffering Humanity." The Adoratien of the ancient Bethlehem groups, then of Chinese, British-American, German, Russian, Japanese, expressed in carols in their own languages, was succeeded by the coming of the Three Wise Men, whose attempted giving to the Babe was guided by Mary to the Coffer under the great White Cross—and then all the kneeling groups followed suit, as well as many of the audience, who had come prepared to share in the Giving. While these were streaming up and over the platform, there was sung a French Christmas solo, which rang out again and again and never endingly, like a little glimpse into Heaven.

The emigration work has been fairly constant, the present statistics for those who have attended the Three Day Institutes held at the Building standing at 298 men and 318 women—616 in all. Besides, many have attended the Sunday afternoon vesper services which are for women only, and at which the attendance is voluntary. Emigration work began after the holidays on Jannary 6th.

On Jannary 10th the day and night classes began again, and everything is proceeding as usual.

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

THE YOUNG WOMEN OF JAPAN

(JOSHI SEINEN KAI)

Vol. XVIII February 1921 Number 12.

NATIONAL

A cable has been received from San Francisco advising Miss Kawai sailed on the "Korea" January 24 and will arrive in Japan February 10.

Word has come that Miss Helen L. Thomas, of the Conference Department at headquarters in New York, will arrive in Japan on the Korea Maru February 10th. Miss Thomas will spend two weeks in Japan, on her way to China to visit her sister, and wants to see the Association work in Japan. Since Miss Thomas' special interest is conferences, she will be much interested in hearing about the proposed conference grounds for the girls of Japan.

Several visitors from abroad have seen the Tokyo and Yokohama work this month, Miss Ellen Stevens, of the Secretarial Committee, National Board, U.S.A. Mrs. Gurley, president of the Troy, N. Y. Association and her daughter, Mrs. Dibert.

Mrs. Grace B. McLean has sailed for the United States, in response to a cable from the National Board asking her to come to New York for consultation regarding hostess work.

Miss Anne Birdsall is spending the month of January in China and the Philippines. Miss Mary Page has gone to Kyoto to be with Miss Best during her absence.

YOKOHAMA

Mrs. James Scott who so generously gave her services to the Residence until the arrival of Mrs. Jordan, has left for a trip to Manila, and will leave Yokohama for America on the Kashima Maru on February 10. Mrs. Edith Allen Jordan has taken charge, and the joy that her presence and gracious personality, as well as her efficient handling of the work, is to the household and to the secretaries, is immeasurable.

The Residence has now thirteen permanent guests, and always several transients, so that the rooms, and even the three little partitioned—off corners of the porches, are in use all the time. There is no question about there being a need for such a house. The possession of it, however, is not without its attendant problems. But it is a very interesting and busy place, and will increasingly become the center for various activities.

The Annual Meeting was held after a dinner at the building served to more than a hundred guests. The reports and discussien were very lively and constructive, and everyone felt that there was here a great promise and a source of inspiration for the coming year.

The December Board meeting was held at the home of the foreign secretaries after a luncheon served to twenty-one guests. Various suggestions and discussion concerning the land for the new building were given, and the following officers were elected for the coming year: President: Mrs Murohara. Vice-presidents: Mrs. Mendelson, Mrs. Iwamoto, Treasurer: Mrs. Nomura, Secretary: Miss Fumi Watanabe.

The Married Women's Club is increasing in size and interest. There

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

滋養強壯劑

グリコナール

本品は醫學博士佐伯矩先生の創製せる營養劑にして、約五〇％の「グリコゲーン」及蛋白質、脂肪、越幾斯分の適量を含有す。

（適應症）一般虛弱、心臟機能衰弱、結核其他慢性病者等滋養料の充足を要するものに對し、能く其目的を達することを得。（說明書進呈す）

錠劑百錠入各地有名藥舖に有り

殺菌漂白劑

オキシフル

（純良過酸化水素水）

オキシフル（十容量％過酸化水素水）は安全無害の消毒、制臭、漂白劑にして、其消毒力は約千倍の昇汞水に匹敵すと稱せらる。（說明書進呈す）

醫藥として創傷其他の一般外科、耳鼻咽喉科、齒科等に汎用せられ、化粧料として齒牙を美白ならしめ口臭を去る等に推奬さる。

小瓶（四オンス入）大瓶（一ポンド入）の二種あり。（各地有名藥舖に有り）

三共株式會社

本社　東京日本橋區室町三丁目

出張所　大阪淡路町・臺北府後街

女子青年界第拾八卷第二號（毎月一回一日發行）
大正十一年一月廿六日印刷納本大正十年二月一日發行　明治卅七年五月七日第三種郵便物認可



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA